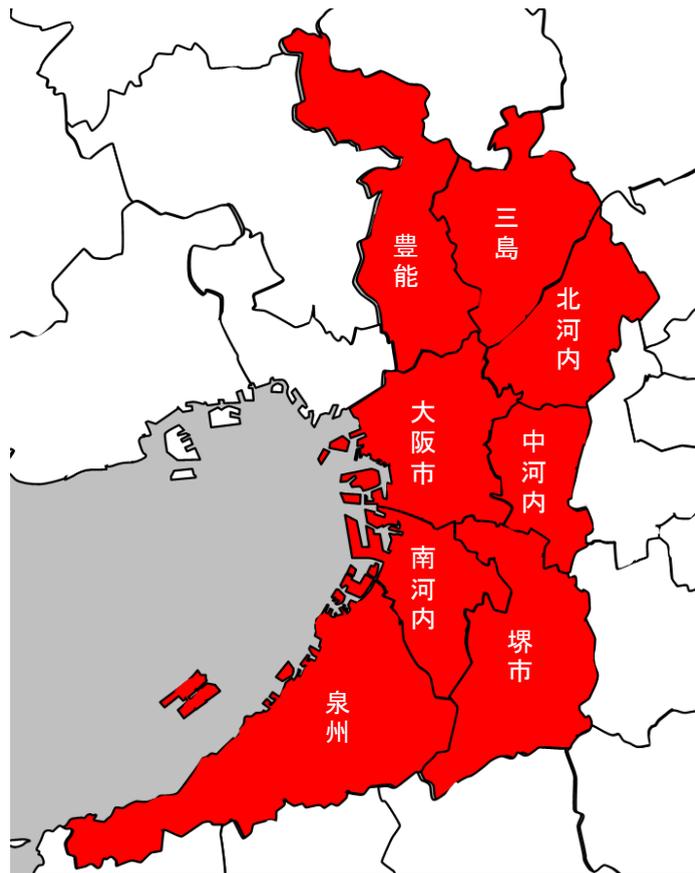


27. 大阪府

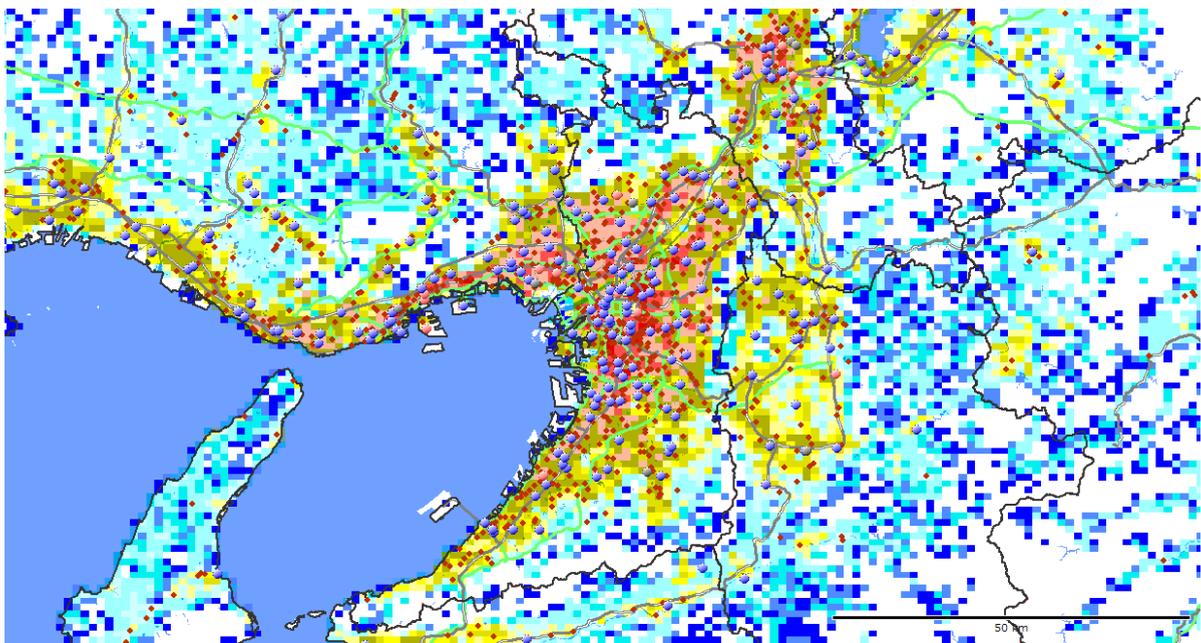


目次

大阪府	27	-	3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料	27	-	8
1. 豊能医療圏	27	-	26
2. 三島医療圏	27	-	31
3. 北河内医療圏	27	-	36
4. 中河内医療圏	27	-	41
5. 南河内医療圏	27	-	46
6. 堺市医療圏	27	-	51
7. 泉州医療圏	27	-	56
8. 大阪市医療圏	27	-	61

27. 大阪府

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

(大阪府) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

***人口、面積など：** 大阪府は、総人口約8808千人(2015年推計)、面積1898km²、人口密度は4640人/km²である。

***人口の将来予測：** 大阪府の総人口は2025年に8410千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に7454千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の1070千人が、2025年にかけて1528千人へと増加し(2015年比+43%)、2040年には1472千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 大阪府の一人当たり医療費(国保)は326千円(偏差値52)、介護給付費は261千円(偏差値52)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 大阪府の一人当たり急性期医療密度指数²は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.01で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が55(病院医師数53、診療所医師数57)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、診療所医師数は多い。総看護師数の偏差値は49と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は52で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は50と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 大阪府の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、100768人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が52444床(偏差値41)、高齢者住宅等が48324床(偏差値54)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、69948人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設43、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム51、軽費ホーム50、グループホーム45、サ高住60である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値69と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、28908人(75歳以上1000人当たりの偏差値74)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-50%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

大阪府の総人口は、2005年8817166人が、2015年に8808282人と1%未満減少し、2025年の人口が8410039人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

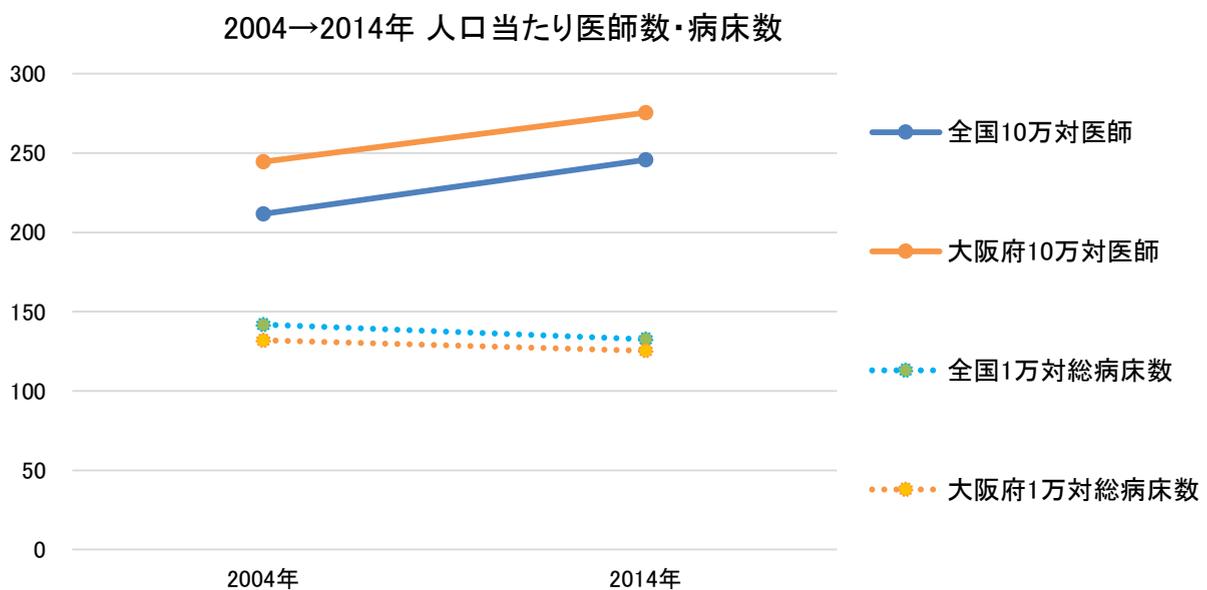
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が555(人口10万人当たり6.3病院(全国平均7.1)偏差値48)であったが、2014年に530(人口10万人当たり6病院(全国平均6.7)偏差値48)となり、10年間で25病院が減少した。

2004年の診療所数が8118(人口10万人当たり92診療所(全国平均76)偏差値58)であったが、2014年に8307(人口10万人当たり94診療所(全国平均79)偏差値58)と、189診療所が増加した。

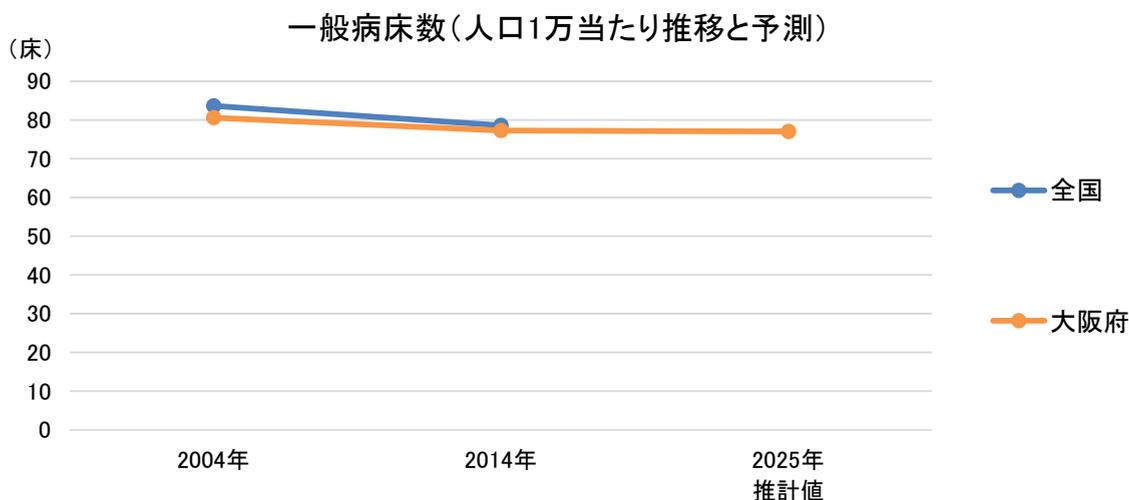
2004年の総病床数が116330床(人口1万人当たり132(全国平均142)偏差値48)であったが、2014年に110426床(人口1万人当たり125(全国平均133)偏差値49)と、5904床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が21563人(人口10万人当たり245人(全国平均212人)偏差値54)であったが、2014年に24260人(人口10万人当たり275人(全国平均246人)偏差値53)と、2697人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



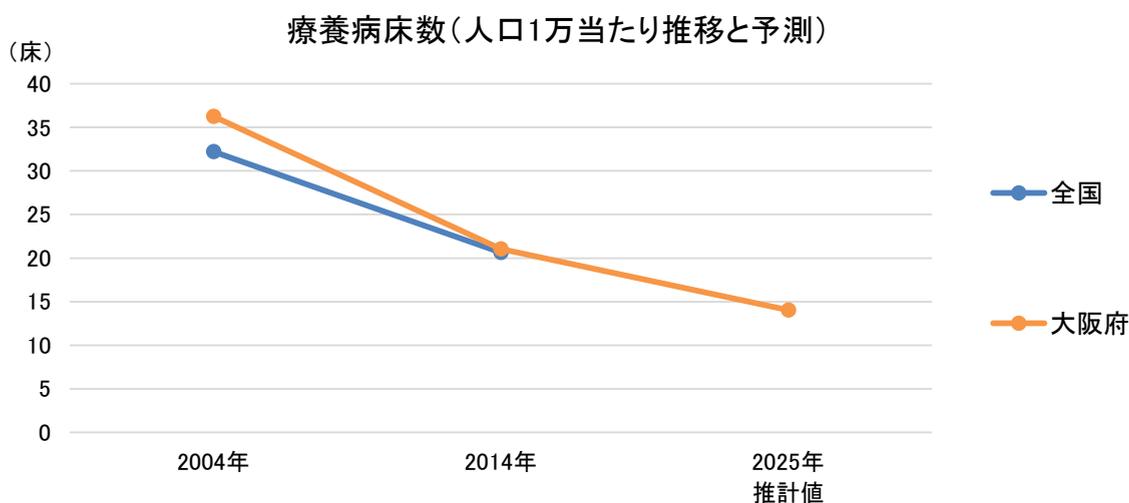
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が71070床(人口1万人当たり81(全国平均84)偏差値49)であったが、2014年に68084床(人口1万人当たり77(全国平均79)偏差値50)と、2986床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には64800床(2025年の推計人口1万人当たり77)になることが予想される。



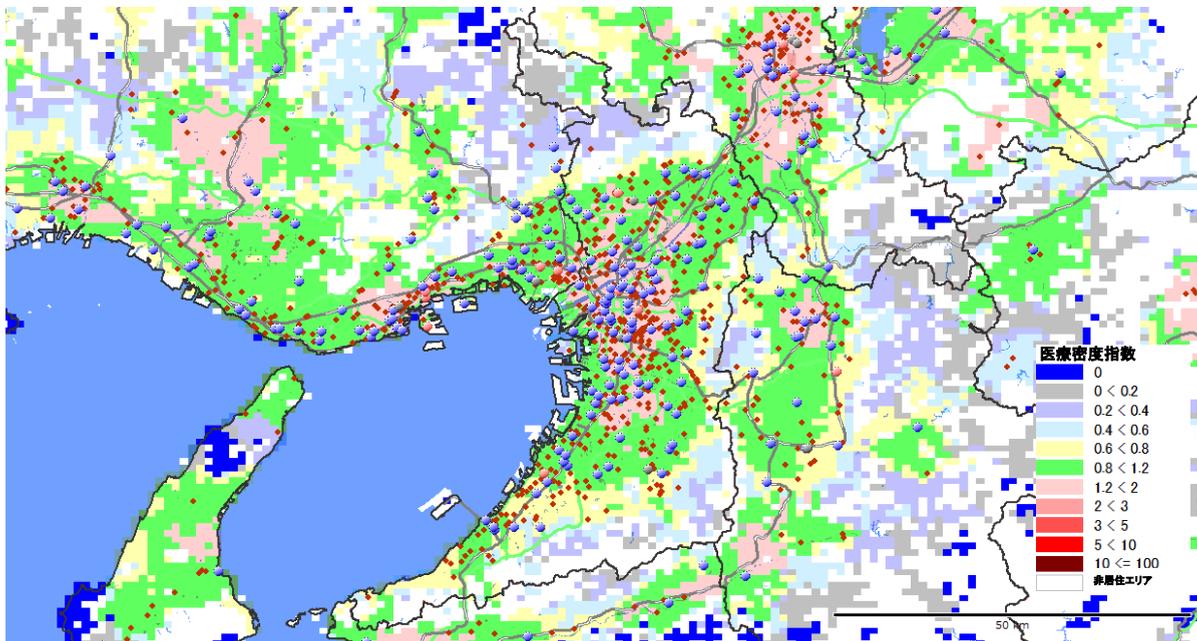
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が23571床(75歳以上1000人当たり36(全国平均32)偏差値52)であったが、2014年に22548床(75歳以上1000人当たり21(全国平均21)偏差値50)と、1023床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には21423床(2025年の推計75歳以上1000人当たり14)になることが予想される。

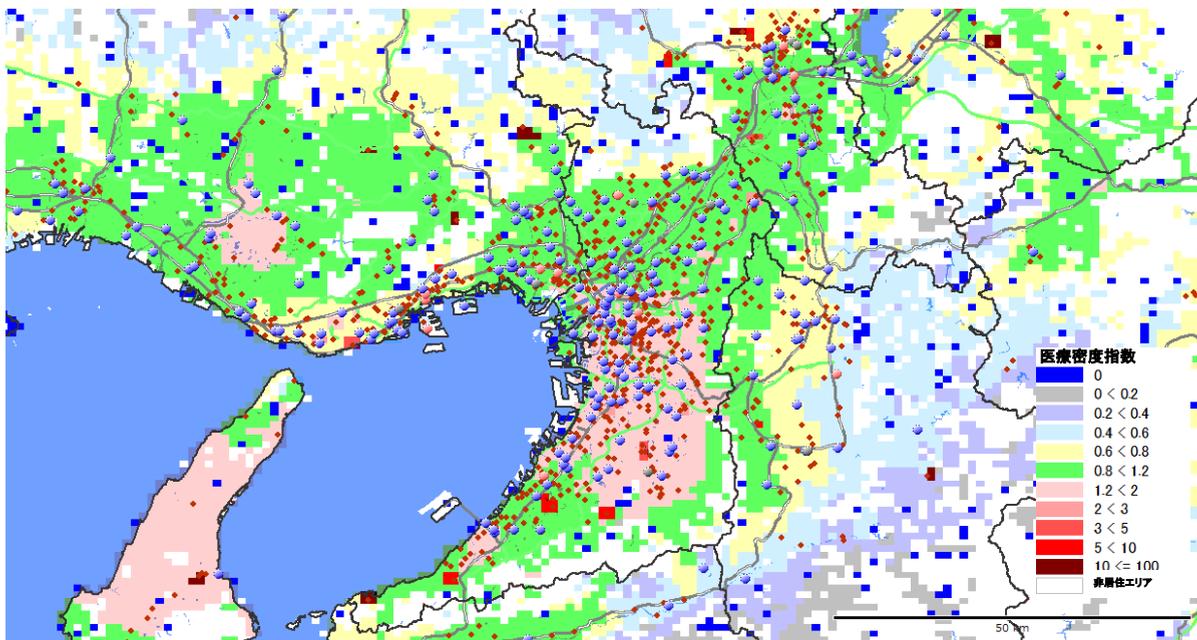


3. 医療密度⁵

図表27-1 急性期医療密度指数マップ



図表27-2 慢性期医療密度指数マップ



27. 大阪府（2016年版）

資料編 ー 当県ならびに二次医療圏別資料⁶

資_図表 27-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
大阪府	8,808	3位	1,898	46位	4,639.7		27%	8,410	7,454	1,070	1,528	1,472	-5%	-11%	43%	-4%
豊能	1,008	11%	275	15%	3,657.8	大都市型	26%	968	865	119	173	174	-4%	-11%	45%	1%
三島	749	9%	213	11%	3,508.5	大都市型	26%	731	667	85	131	125	-2%	-9%	54%	-5%
北河内	1,172	13%	177	9%	6,608.9	大都市型	28%	1,109	956	138	215	201	-5%	-14%	56%	-7%
中河内	838	10%	129	7%	6,497.7	大都市型	28%	779	659	105	150	137	-7%	-15%	43%	-9%
南河内	620	7%	290	15%	2,137.9	大都市型	28%	575	484	80	116	111	-7%	-16%	45%	-4%
堺市	842	10%	150	8%	5,611.0	大都市型	27%	814	739	100	146	135	-3%	-9%	46%	-8%
泉州	917	10%	441	23%	2,079.1	大都市型	25%	881	792	104	148	148	-4%	-10%	42%	0%
大阪市	2,664	30%	222	12%	11,973.7	大都市型	26%	2,553	2,292	340	448	442	-4%	-10%	32%	-1%

出典 <人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月
<面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年

資_図表 27-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)	
			2025年	2040年
全国	1.00	1.00	-26.7%	-27.2%
大阪府	1.07	1.01	-55.4%	-49.7%
豊能	1.09	0.57	-48.4%	-49.4%
三島	1.00	0.62	-82.8%	-74.6%
北河内	1.00	0.68	-69.7%	-58.4%
中河内	0.87	1.15	-78.1%	-62.4%
南河内	0.93	1.65	-64.8%	-57.5%
堺市	1.09	1.57	-75.8%	-61.9%
泉州	0.78	1.07	-86.1%	-85.1%
大阪市	1.31	0.85	-42.2%	-40.2%

出典 <一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。
<75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均(99.3床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 27-3 医療費、介護給付費⁷

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	319	(41)	1.000	254	(37)
大阪府	326	52	1.108	261	52
豊能	334	54	1.039	242	47
三島	346	57	1.054	206	37
北河内	323	51	1.019	234	45
中河内	328	52	1.050	257	51
南河内	331	53	1.023	249	49
堺市	340	55	1.061	260	52
泉州	328	52	1.054	247	48
大阪市	312	48	1.078	306	64
出典	<一人あたり医療費>平成25年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成26年度介護保険事業状況報告(年報) 平成26年度累計(平成26年3月サービス分から平成27年2月サービス分まで)				

資_図表 27-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,493		6.7	(4.1)	100,461		79	(19.5)
大阪府	530	6.2%	6.0	48	8,307	8.3%	94	58
豊能	48	9%	4.8	45	962	12%	95	58
三島	39	7%	5.2	46	577	7%	77	49
北河内	59	11%	5.0	46	879	11%	75	48
中河内	40	8%	4.8	45	661	8%	79	50
南河内	39	7%	6.3	49	465	6%	75	48
堺市	45	8%	5.3	47	716	9%	85	53
泉州	76	14%	8.3	54	668	8%	73	47
大阪市	184	35%	6.9	50	3,379	41%	127	74
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

27. 大阪府（2016年版）

資_図表 27-5 診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数				有床 診療所数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	100,461		79	(19.5)			73	(19.0)			6.6	(6.6)
大阪府	8,307	8.3%	94	58	8,031	8.7%	91	60	276	3.3%	3.1	45
豊能	962	12%	95	58	939	12%	93	61	23	8%	2.3	44
三島	577	7%	77	49	551	7%	74	50	26	9%	3.5	45
北河内	879	11%	75	48	836	10%	71	49	43	16%	3.7	46
中河内	661	8%	79	50	636	8%	76	52	25	9%	3.0	45
南河内	465	6%	75	48	453	6%	73	50	12	4%	1.9	43
堺市	716	9%	85	53	689	9%	82	55	27	10%	3.2	45
泉州	668	8%	73	47	640	8%	70	48	28	10%	3.1	45
大阪市	3,379	41%	127	74	3,287	41%	123	77	92	33%	3.5	45
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 27-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数				病院+ 診療所 病床数			
					県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,568,261		1,238	(503)			89	(106)			1,327	(565)
大阪府	107,770	6.9%	1,224	50	2,656	2.4%	30	44	110,426	6.6%	1,254	49
豊能	11,127	10%	1,104	47	250	9%	25	44	11,377	10%	1,129	46
三島	9,008	8%	1,203	49	289	11%	39	45	9,297	8%	1,241	48
北河内	11,694	11%	998	45	477	18%	41	45	12,171	11%	1,038	45
中河内	7,561	7%	903	43	188	7%	22	44	7,749	7%	925	43
南河内	8,462	8%	1,365	53	150	6%	24	44	8,612	8%	1,389	51
堺市	12,448	12%	1,479	55	214	8%	25	44	12,662	11%	1,505	53
泉州	14,808	14%	1,616	58	295	11%	32	45	15,103	14%	1,648	56
大阪市	32,662	30%	1,226	50	793	30%	30	44	33,455	30%	1,256	49
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 27-7 病院病床数(一般病床、療養病床、精神病床)

二次医療圏	一般病床				療養病床				精神病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	894,216		706	(229)	328,144		259	(210)	338,174		267	(219)
大阪府	65,472	7.3%	743	52	22,504	6.9%	255	50	19,122	5.7%	217	48
豊能	7,188	11%	713	50	1,800	8%	179	46	2,035	11%	202	47
三島	5,270	8%	704	50	1,161	5%	155	45	2,577	13%	344	54
北河内	7,531	12%	642	47	2,163	10%	185	46	1,791	9%	153	45
中河内	4,429	7%	529	42	1,335	6%	159	45	1,797	9%	215	48
南河内	4,777	7%	771	53	1,867	8%	301	52	1,662	9%	268	50
堺市	5,629	9%	669	48	3,838	17%	456	59	2,882	15%	342	53
泉州	4,773	7%	521	42	3,878	17%	423	58	6,147	32%	671	68
大阪市	25,875	40%	971	62	6,462	29%	243	49	231	1%	9	38
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 27-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数⁸

二次医療圏	回復期病床				地域包括ケア病床			
	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	70,480		56	(47)	36,025		34	(48)
大阪府	5,311	7.5%	60	51				
豊能	707	13%	70	53				
三島	601	11%	80	55				
北河内	728	14%	62	51				
中河内	374	7%	45	48				
南河内	180	3%	29	44				
堺市	502	9%	60	51				
泉州	651	12%	71	53				
大阪市	1,568	30%	59	51				
出典	平成26年度病床機能報告				平成28年6月地方厚生局(関東信越厚生局のみ7月公表分)。近畿厚生局は病床数データがないため非掲載。			

27. 大阪府（2016年版）

資_図表 27-9 公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値*全国は標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
大阪府	28,530	24,705	924	79,448	41,253	21,245	37.5%	44	4.2%	48
豊能	5,078	4,872	0	6,099	2,330	1,786	67.6%	56	0.0%	46
三島	975	844	131	8,033	4,422	1,034	16.0%	35	11.2%	51
北河内	2,749	2,218	0	9,293	5,663	2,153	28.1%	40	0.0%	46
中河内	1,772	1,177	58	5,764	3,257	1,247	26.5%	39	4.4%	48
南河内	1,629	1,363	0	6,821	3,483	1,786	28.1%	40	0.0%	46
堺市	2,972	1,836	38	9,343	3,558	3,903	34.0%	43	1.0%	46
泉州	2,225	2,012	203	12,581	2,925	3,509	40.8%	45	5.5%	48
大阪市	11,130	10,383	494	21,514	15,615	5,827	39.9%	45	7.8%	49
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

資_図表 27-10 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
大阪府	211,788	7.5%	2,404	52	70,452	6.9%	800	50
豊能	24,372	12%	2,419	52	8,964	13%	890	53
三島	17,940	8%	2,395	52	6,636	9%	886	53
北河内	26,436	12%	2,255	50	8,244	12%	703	46
中河内	12,180	6%	1,454	43	5,484	8%	655	45
南河内	15,180	7%	2,449	52	4,548	6%	734	47
堺市	15,492	7%	1,841	46	5,784	8%	687	46
泉州	21,516	10%	2,348	51	8,232	12%	898	53
大阪市	78,672	37%	2,953	57	22,560	32%	847	51
出典	平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 27-11 医師数(総数、病院医師数、診療所医師数)

二次医療圏	総医師数				病院医師数				診療所医師数			
	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	340,791		269	(92)	210,112		166	(67)	130,678		103	(33)
大阪府	27,531	8.1%	313	55	16,487	7.8%	187	53	11,043	8.5%	125	57
豊能	3,516	13%	349	59	2,277	14%	226	59	1,239	11%	123	56
三島	2,188	8%	292	52	1,442	9%	192	54	746	7%	100	49
北河内	2,957	11%	252	48	1,731	11%	148	47	1,226	11%	105	50
中河内	1,780	6%	213	44	917	6%	109	42	863	8%	103	50
南河内	1,824	7%	294	53	1,264	8%	204	56	560	5%	90	46
堺市	2,204	8%	262	49	1,271	8%	151	48	934	8%	111	52
泉州	2,317	8%	253	48	1,441	9%	157	49	876	8%	96	48
大阪市	10,744	39%	403	65	6,144	37%	231	60	4,600	42%	173	71
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 27-12 専門医数(総合内科、小児科、産婦人科)

二次医療圏	総合内科専門医数				小児科専門医数				産婦人科専門医数			
	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	15,664		12.4	(6.7)	12,494		9.9	(4.6)	10,443		8.2	(3.8)
大阪府	1,158	7.4%	13.1	51	859	6.9%	9.8	50	852	8.2%	9.7	54
豊能	185	16%	18.4	59	125	15%	12.4	56	144	17%	14.3	66
三島	97	8%	13.0	51	70	8%	9.3	49	65	8%	8.7	51
北河内	124	11%	10.6	47	97	11%	8.3	47	82	10%	7.0	47
中河内	58	5%	6.9	42	58	7%	6.9	44	53	6%	6.3	45
南河内	77	7%	12.4	50	57	7%	9.2	49	41	5%	6.6	46
堺市	104	9%	12.4	50	64	7%	7.6	45	61	7%	7.2	47
泉州	66	6%	7.2	42	100	12%	10.9	52	88	10%	9.6	54
大阪市	447	39%	16.8	57	288	34%	10.8	52	318	37%	11.9	60
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

27. 大阪府（2016年版）

資_図表 27-13 専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	眼科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	耳鼻咽喉 科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	5,278		4.2	(2.1)	9,392		7.4	(3.2)	7,466		5.9	(2.6)
大阪府	365	6.9%	4.1	50	847	9.0%	9.6	57	616	8.3%	7.0	54
豊能	62	17%	6.2	59	115	14%	11.4	62	82	13%	8.1	59
三島	25	7%	3.3	46	69	8%	9.2	56	53	9%	7.1	55
北河内	41	11%	3.5	47	89	11%	7.6	51	74	12%	6.3	52
中河内	25	7%	3.0	44	51	6%	6.1	46	41	7%	4.9	46
南河内	28	8%	4.5	52	60	7%	9.7	57	38	6%	6.1	51
堺市	24	7%	2.9	44	69	8%	8.2	52	35	6%	4.2	43
泉州	25	7%	2.7	43	54	6%	5.9	45	54	9%	5.9	50
大阪市	135	37%	5.1	54	340	40%	12.8	67	239	39%	9.0	62
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 27-14 専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	整形外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,293		6.5	(3.5)	20,395		16.1	(7.2)	15,369		12.1	(4.5)
大阪府	568	6.8%	6.4	50	1,507	7.4%	17.1	51	1,178	7.7%	13.4	53
豊能	78	14%	7.7	53	269	18%	26.7	65	139	12%	13.8	54
三島	64	11%	8.5	56	100	7%	13.4	46	98	8%	13.1	52
北河内	68	12%	5.8	48	159	11%	13.6	46	141	12%	12.0	50
中河内	30	5%	3.6	42	87	6%	10.4	42	82	7%	9.8	45
南河内	36	6%	5.8	48	123	8%	19.8	55	90	8%	14.5	55
堺市	47	8%	5.6	47	116	8%	13.8	47	101	9%	12.0	50
泉州	62	11%	6.8	51	121	8%	13.2	46	94	8%	10.3	46
大阪市	183	32%	6.9	51	532	35%	20.0	55	433	37%	16.3	59
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 27-15 専門医数(泌尿器科、脳神経外科、放射線科)

二次医療圏	泌尿器科				脳神経外科				放射線科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	5,711		4.5	(2.1)	6,376		5.0	(2.4)	5,300		4.2	(3.0)
大阪府	471	8.2%	5.3	54	501	7.9%	5.7	53	471	8.9%	5.3	54
豊能	60	13%	6.0	57	62	12%	6.2	55	76	16%	7.5	61
三島	34	7%	4.5	50	51	10%	6.8	57	35	7%	4.7	52
北河内	60	13%	5.1	53	58	12%	4.9	50	46	10%	3.9	49
中河内	31	7%	3.7	46	37	7%	4.4	47	31	7%	3.7	48
南河内	33	7%	5.3	54	47	9%	7.6	61	43	9%	6.9	59
堺市	38	8%	4.5	50	24	5%	2.9	41	26	6%	3.1	46
泉州	32	7%	3.5	45	30	6%	3.3	43	30	6%	3.3	47
大阪市	183	39%	6.9	61	192	38%	7.2	59	184	39%	6.9	59
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

資_図表 27-16 専門医数(麻酔科、病理、救急科)

二次医療圏	麻酔科				病理				救急科			
	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	6,566		5.2	(3.1)	1,541		1.2	(0.9)	3,291		2.6	(1.7)
大阪府	524	8.0%	5.9	52	109	7.1%	1.2	50	329	10.0%	3.7	57
豊能	79	15%	7.8	59	19	17%	1.9	57	54	16%	5.4	66
三島	47	9%	6.3	54	10	9%	1.3	51	25	8%	3.3	54
北河内	58	11%	4.9	49	14	13%	1.2	50	29	9%	2.5	49
中河内	33	6%	3.9	46	6	6%	0.7	45	25	8%	3.0	52
南河内	40	8%	6.5	54	5	5%	0.8	46	27	8%	4.4	60
堺市	38	7%	4.5	48	7	6%	0.8	46	26	8%	3.1	53
泉州	39	7%	4.3	47	6	6%	0.7	44	30	9%	3.3	54
大阪市	190	36%	7.1	56	42	39%	1.6	54	113	34%	4.2	60
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月											

27. 大阪府（2016年版）

資_図表 27-17 専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	リハビリテ- ション科 専門医数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,984		1.6	(1.2)	2,370		1.9	(1.3)
大阪府	172	8.7%	2.0	53	156	6.6%	1.8	49
豊能	18	10%	1.8	52	18	12%	1.8	49
三島	14	8%	1.9	52	19	12%	2.5	55
北河内	21	12%	1.8	52	17	11%	1.5	47
中河内	9	5%	1.1	46	19	12%	2.3	53
南河内	14	8%	2.3	56	8	5%	1.3	46
堺市	13	8%	1.5	50	6	4%	0.7	41
泉州	9	5%	1.0	45	11	7%	1.2	45
大阪市	74	43%	2.8	60	58	37%	2.2	52
出典	平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月							

資_図表 27-18 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師 数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 看護師数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,100,601		869	(289)	903,500		713	(241)	197,102		156	(74)
大阪府	74,266	6.7%	843	49	63,131	7.0%	717	50	11,135	5.6%	126	46
豊能	8,064	11%	800	48	6,886	11%	683	49	1,178	11%	117	45
三島	5,826	8%	778	47	5,001	8%	668	48	825	7%	110	44
北河内	8,529	11%	728	45	7,103	11%	606	46	1,426	13%	122	45
中河内	5,175	7%	618	41	4,232	7%	505	41	942	8%	113	44
南河内	5,380	7%	868	50	4,760	8%	768	52	619	6%	100	42
堺市	7,557	10%	898	51	6,494	10%	772	52	1,063	10%	126	46
泉州	8,283	11%	904	51	7,076	11%	772	52	1,207	11%	132	47
大阪市	25,454	34%	956	53	21,579	34%	810	54	3,875	35%	145	49
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月			

資_図表 27-19 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	119,431		94	(52)	288,151		227	(98)
大阪府	8,188	6.9%	93	50	23,844	8.3%	271	54
豊能	944	12%	94	50	3,132	13%	311	59
三島	767	9%	102	52	2,402	10%	321	60
北河内	966	12%	82	48	2,303	10%	196	47
中河内	624	8%	74	46	1,225	5%	146	42
南河内	461	6%	74	46	1,314	6%	212	48
堺市	903	11%	107	53	1,606	7%	191	46
泉州	940	11%	103	52	1,526	6%	166	44
大阪市	2,582	32%	97	51	10,336	43%	388	66
出典	平成26年病院報告 厚生労働省 平成26年10月				平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月			

資_図表 27-20 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,679		0.9	(0.5)	1,120		0.1	(0.1)	9,602		0.6	(0.2)
大阪府	1,869	12.7%	1.7	69	106	9.5%	0.1	55	765	8.0%	0.7	57
豊能	190	10%	1.6	65	5	5%	0.0	46	81	11%	0.7	55
三島	156	8%	1.8	70	7	7%	0.1	52	50	7%	0.6	50
北河内	151	8%	1.1	54	13	12%	0.1	54	85	11%	0.6	52
中河内	164	9%	1.6	65	6	6%	0.1	48	73	10%	0.7	56
南河内	121	6%	1.5	64	9	8%	0.1	57	52	7%	0.7	54
堺市	161	9%	1.6	66	10	9%	0.1	55	82	11%	0.8	63
泉州	137	7%	1.3	59	20	19%	0.2	69	74	10%	0.7	57
大阪市	789	42%	2.3	81	36	34%	0.1	56	268	35%	0.8	61
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成28年5月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成28年5月			

27. 大阪府（2016年版）

資_図表 27-21 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護保険施設定員(病床)数				高齢者住宅定員数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	1,633,619		99	(17)	983,880		60	(13)	649,739		39	(15)
大阪府	100,768	6.2%	94	47	52,444	5.3%	49	41	48,324	7.4%	45	54
豊能	11,764	12%	99	50	5,853	11%	49	41	5,911	12%	50	57
三島	6,992	7%	82	40	3,981	8%	47	40	3,011	6%	35	47
北河内	13,581	13%	99	50	6,721	13%	49	41	6,860	14%	50	57
中河内	10,018	10%	96	48	5,076	10%	49	41	4,942	10%	47	55
南河内	6,790	7%	85	42	4,100	8%	52	43	2,690	6%	34	46
堺市	9,073	9%	91	45	4,662	9%	47	40	4,411	9%	44	53
泉州	8,754	9%	84	41	4,730	9%	45	39	4,024	8%	39	49
大阪市	33,796	34%	99	50	17,321	33%	51	43	16,475	34%	48	56
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 27-22 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数				介護療養病床数			
					全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差		
全国	361,993		22	(5.7)	554,289		34	(10.0)	67,598		4.1	(4.1)
大阪府	19,380	5.4%	18	43	30,765	5.6%	29	45	2,299	3.4%	2.1	45
豊能	2,197	11%	18	44	3,656	12%	31	47	0	0%	0	40
三島	1,498	8%	18	42	2,412	8%	28	45	71	3%	0.8	42
北河内	2,588	13%	19	44	3,824	12%	28	44	309	13%	2.2	45
中河内	1,652	9%	16	39	3,122	10%	30	46	302	13%	2.9	47
南河内	1,336	7%	17	41	2,502	8%	31	48	262	11%	3.3	48
堺市	1,744	9%	17	42	2,668	9%	27	43	250	11%	2.5	46
泉州	1,835	9%	18	42	2,454	8%	24	40	441	19%	4.2	50
大阪市	6,530	34%	19	45	10,127	33%	30	46	664	29%	2.0	45
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-23 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア			軽費ホーム	全国シェア			グループホーム	全国シェア		
		75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	75歳以上 1,000人 当り		偏差値 *全国は 標準偏差	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差				
全国	223,346		13.6	(10.3)	22,728		1.4	(2.1)	191,184		11.6	(5.6)
大阪府	16,164	7.2%	15.1	51	1,370	6.0%	1.3	50	9,568	5.0%	8.9	45
豊能	2,638	16%	22.1	58	235	17%	2.0	53	1,012	11%	8.5	44
三島	1,247	8%	14.6	51	233	17%	2.7	57	494	5%	5.8	40
北河内	2,614	16%	19.0	55	274	20%	2.0	53	1,200	13%	8.7	45
中河内	928	6%	8.9	45	30	2%	0.3	45	995	10%	9.5	46
南河内	886	5%	11.1	48	158	12%	2.0	53	658	7%	8.3	44
堺市	936	6%	9.4	46	170	12%	1.7	52	1,166	12%	11.7	50
泉州	600	4%	5.8	42	220	16%	2.1	54	799	8%	7.7	43
大阪市	6,315	39%	18.6	55	50	4%	0.1	44	3,244	34%	9.5	46
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-24 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住 (全施設)	全国シェア			サ高住 (特定 施設)	全国シェア			サ高住 (非特定 施設)	全国シェア			
		75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	75歳以上 1,000人 当り		偏差値 *全国は 標準偏差	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差					
全国	212,481		12.9	(6.7)	13,027		0.8	(1.6)	199,454		12.1	(6.3)	
大阪府	21,222	10.0%	19.8	60	443	3.4%	0.4	48	20,779	10.4%	19.4	62	
豊能	2,026	10%	17.0	56	0	0%	0	45	2,026	10%	17.0	58	
三島	1,037	5%	12.2	49	0	0%	0	45	1,037	5%	12.2	50	
北河内	2,772	13%	20.1	61	0	0%	0	45	2,772	13%	20.1	63	
中河内	2,989	14%	28.6	73	0	0%	0	45	2,989	14%	28.6	76	
南河内	988	5%	12.4	49	0	0%	0	45	988	5%	12.4	50	
堺市	2,139	10%	21.4	63	0	0%	0	45	2,139	10%	21.4	65	
泉州	2,405	11%	23.1	65	0	0%	0	45	2,405	12%	23.1	67	
大阪市	6,866	32%	20.2	61	443	100%	1.3	53	6,423	31%	18.9	61	
出典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計			平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの					平成28年4月 国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウエルネスが二次医療圏別に集計したもの				

27. 大阪府（2016年版）

資_図表 27-25 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (施設)				看護師数 (訪問)			
					看護師数 (施設)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 (訪問)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	160,468		9.7	(2.4)	118,281		7.2	(2.2)	42,186		2.6	(0.8)
大阪府	9,129	5.7%	8.5	45	5,557	4.7%	5.2	41	3,573	8.5%	3.3	59
豊能	955	10%	8.0	43	596	11%	5.0	40	359	10%	3.0	55
三島	659	7%	7.7	41	400	7%	4.7	39	259	7%	3.0	56
北河内	1,176	13%	8.5	45	785	14%	5.7	43	392	11%	2.8	53
中河内	840	9%	8.0	43	533	10%	5.1	40	306	9%	2.9	54
南河内	736	8%	9.3	48	479	9%	6.0	45	257	7%	3.2	58
堺市	920	10%	9.2	48	495	9%	5.0	40	425	12%	4.3	70
泉州	864	9%	8.3	44	545	10%	5.2	41	318	9%	3.1	56
大阪市	2,979	33%	8.8	46	1,724	31%	5.1	40	1,255	35%	3.7	63
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-26 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (介護施設等)				介護職員数 (在宅)			
					介護職員数 (介護施設等)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 (在宅)	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,482,791		90	(12.3)	1,259,191		77	(11.5)	223,600		13.6	(5.5)
大阪府	98,856	6.7%	92	52	69,948	5.6%	65	40	28,908	12.9%	27.0	74
豊能	10,846	11%	91	51	8,332	12%	70	44	2,514	9%	21.1	64
三島	6,247	6%	73	36	5,004	7%	59	35	1,242	4%	14.6	52
北河内	12,585	13%	91	51	9,667	14%	70	45	2,918	10%	21.2	64
中河内	9,231	9%	88	48	6,422	9%	61	37	2,809	10%	26.8	74
南河内	7,149	7%	90	50	5,648	8%	71	45	1,501	5%	18.9	60
堺市	9,549	10%	96	55	6,520	9%	65	40	3,029	10%	30.4	81
泉州	8,871	9%	85	46	6,165	9%	59	35	2,706	9%	26.0	73
大阪市	34,379	35%	101	59	22,190	32%	65	40	12,188	42%	35.9	91
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-27 在宅医療・介護サービス利用者数(月間)

二次医療圏	在宅医療 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護 利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,072,285		65	(31)	412,167		25	(11)	1,493,642		91	(31)
大阪府	107,714	10.0%	101	62	39,767	9.6%	37	61	178,060	11.9%	166	74
豊能	13,527	13%	113	66	4,948	12%	41	65	17,839	10%	150	69
三島	6,443	6%	76	53	2,957	7%	35	59	9,547	5%	112	57
北河内	10,083	9%	73	53	4,472	11%	32	57	19,253	11%	140	66
中河内	8,677	8%	83	56	2,975	7%	28	53	15,914	9%	152	70
南河内	7,197	7%	90	58	3,820	10%	48	71	9,487	5%	119	59
堺市	12,114	11%	121	68	4,051	10%	41	65	18,278	10%	183	80
泉州	7,488	7%	72	52	2,953	7%	28	53	16,890	9%	162	73
大阪市	42,185	39%	124	69	13,591	34%	40	64	70,852	40%	209	88
出典	平成28年5月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 27-28 総人口の推移と医療需要の増減

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移 (2005→2015→2025)		
		2005年	2015年 (推計)	2005→ 15年 増減率	2025年 (推計)	2005→ 25年 増減率	2005→ 2015医療 点数増減 率	2015→ 2025医療 点数増減 率	2005→ 2025医療 点数増減 率
全国		127,767,994	126,660,501	-1%	120,699,960	-6%	13%	5%	18%
大阪府		8,817,166	8,808,282	0%	8,410,039	-5%	18%	5%	23%
豊能	大都市型	1,006,084	1,007,617	0%	968,191	-4%	18%	6%	26%
三島	大都市型	733,848	749,034	2%	730,980	0%	21%	8%	31%
北河内	大都市型	1,186,521	1,172,288	-1%	1,108,862	-7%	21%	6%	29%
中河内	大都市型	864,342	837,620	-3%	779,398	-10%	17%	3%	20%
南河内	大都市型	649,601	619,835	-5%	574,652	-12%	14%	4%	19%
堺市	大都市型	830,966	841,587	1%	814,289	-2%	19%	6%	25%
泉州	大都市型	916,993	916,518	0%	880,500	-4%	15%	5%	22%
大阪市	大都市型	2,628,811	2,663,783	1%	2,553,167	-3%	16%	3%	20%
出典	<人口(2005年)>平成17年国勢調査 都道府県・市区町村別統計表(男女別人口,年齢(3区分)・割合,就業者数,昼間人口など) <人口(2015年、2025年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

27. 大阪府（2016年版）

資_図表 27-29 病院数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,493	6.7	(4.1)	-584	-6%	7,882
大阪府	555	6.3	48	530	6.0	48	-25	-5%	503
豊能	46	4.6	43	48	4.8	45	2	4%	50
三島	38	5.2	45	39	5.2	46	1	3%	40
北河内	61	5.1	45	59	5.0	46	-2	-3%	57
中河内	43	5.0	44	40	4.8	45	-3	-7%	37
南河内	39	6.0	47	39	6.3	49	0	0%	39
堺市	47	5.7	46	45	5.3	47	-2	-4%	43
泉州	81	8.8	54	76	8.3	54	-5	-6%	71
大阪市	200	7.6	51	184	6.9	50	-16	-8%	166
出典	<病院数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <病院数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 27-30 診療所数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	97,051	76	(20)	100,461	79	(19)	3,410	4%	104,229
大阪府	8,118	92	58	8,307	94	58	189	2%	8,515
豊能	914	91	57	962	95	58	48	5%	1,015
三島	539	73	49	577	77	49	38	7%	619
北河内	895	75	50	879	75	48	-16	-2%	861
中河内	702	81	53	661	79	50	-41	-6%	616
南河内	437	67	46	465	75	48	28	6%	496
堺市	709	85	55	716	85	53	7	1%	724
泉州	607	66	45	668	73	47	61	10%	735
大阪市	3,315	126	75	3,379	127	74	64	2%	3,449
出典	<診療所数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <診療所数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

資_図表 27-31 医師数の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	270,371	212	(84)	311,205	246	(98)	40,834	15%	356,135
大阪府	21,563	245	54	24,260	275	53	2,697	13%	27,227
豊能	3,281	326	64	3,699	367	62	418	13%	4,159
三島	1,643	224	51	1,914	256	51	271	16%	2,212
北河内	2,139	180	46	2,549	217	47	410	19%	3,000
中河内	1,410	163	44	1,384	165	42	-26	-2%	1,355
南河内	1,513	233	53	1,689	272	53	176	12%	1,883
堺市	1,541	185	47	1,909	227	48	368	24%	2,314
泉州	1,704	186	47	1,934	211	46	230	13%	2,187
大阪市	8,332	317	63	9,182	345	60	850	10%	10,117
出典	<総医師数2004年>平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成16年12月 <総医師数2014年>平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成26年12月								

資_図表 27-32 総病床数(精神科を含む)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	推計値
全国	1,812,554	142	(56)	1,680,625	133	(57)	-131,929	-7%	1,535,514
大阪府	116,330	132	48	110,426	125	49	-5,904	-5%	103,931
豊能	10,446	104	43	11,377	113	46	931	9%	12,401
三島	9,283	126	47	9,297	124	48	14	0%	9,312
北河内	13,300	112	45	12,171	104	45	-1,129	-8%	10,929
中河内	8,262	96	42	7,749	93	43	-513	-6%	7,185
南河内	8,970	138	49	8,612	139	51	-358	-4%	8,218
堺市	13,942	168	55	12,662	150	53	-1,280	-9%	11,254
泉州	15,563	170	55	15,103	165	56	-460	-3%	14,597
大阪市	36,564	139	50	33,455	126	49	-3,109	-9%	30,035
出典	<総病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <総病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月								

27. 大阪府（2016年版）

資_図表 27-33 一般病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	人口 1万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	人口 1万 当り
全国	1,068,821	84	(28)	995,170	79	(27)	-73,651	-7%	914,162	76
大阪府	71,070	81	49	68,084	77	50	-2,986	-4%	64,800	77
豊能	7,064	70	45	7,438	74	48	374	5%	7,849	81
三島	5,444	74	47	5,555	74	48	111	2%	5,677	78
北河内	8,106	68	45	7,996	68	46	-110	-1%	7,875	71
中河内	5,219	60	42	4,617	55	41	-602	-12%	3,955	51
南河内	5,568	86	51	4,927	79	50	-641	-12%	4,222	73
堺市	6,298	76	47	5,835	69	47	-463	-7%	5,326	65
泉州	5,221	57	41	5,068	55	41	-153	-3%	4,900	56
大阪市	28,150	107	58	26,648	100	58	-1,502	-5%	24,996	98
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

資_図表 27-34 療養病床数(病院+診療所)の推移と予測

二次医療圏	2004年			2014年			2004→2014増減		2025年(推計値)	
	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	数	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	増減数	増減率	数	75歳以上 1,000人 当り
全国	373,823	32	(18)	339,554	21	(12)	-34,269	-9%	301,883	14
大阪府	23,571	36	52	22,548	21	50	-1,023	-4%	21,423	14
豊能	1,022	15	40	1,800	15	45	778	76%	2,656	15
三島	1,213	25	46	1,165	14	44	-48	-4%	1,112	8
北河内	2,161	29	48	2,175	16	46	14	1%	2,190	10
中河内	1,180	19	43	1,335	13	43	155	13%	1,506	10
南河内	1,837	37	53	1,867	23	52	30	2%	1,900	16
堺市	4,023	66	69	3,846	39	65	-177	-4%	3,651	25
泉州	4,102	61	66	3,878	37	64	-224	-5%	3,632	24
大阪市	8,033	37	53	6,482	19	49	-1,551	-19%	4,776	11
出典	<一般病床数2004年>平成16年医療施設調査 厚生労働省 平成16年10月 <一般病床数2014年>平成26年医療施設調査 厚生労働省 平成26年10月									

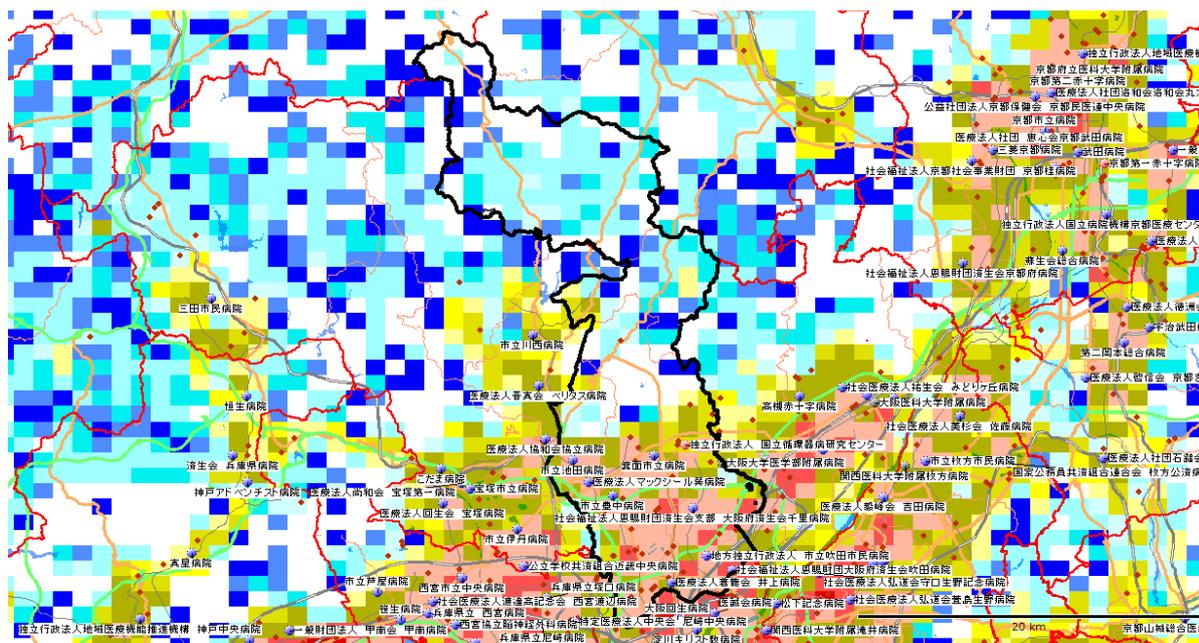
資_図表 27-35【補足】 市町村国民健康保険 診療種別、1人当たり実績医療費⁹

二次医療圏	医療費総計 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数	入院外+ 調剤 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	地域差指数
全国	327	(42)	1.000	126	(29)	1.000	177	(17)	1.000
大阪府	335	52	1.055	126	50	1.030	180	52	1.049
豊能	340	53	1.033	125	50	0.989	184	54	1.033
三島	357	57	1.056	138	54	1.064	190	57	1.036
北河内	336	52	1.030	125	50	1.003	182	53	1.031
中河内	337	52	1.051	124	49	1.003	183	54	1.054
南河内	341	53	1.028	129	51	1.013	183	53	1.015
堺市	350	55	1.063	135	53	1.069	185	54	1.034
泉州	335	52	1.047	128	51	1.039	180	51	1.036
大阪市	320	48	1.081	119	47	1.043	173	47	1.081
出典	平成26年度医療費の地域差分析 厚生労働省								

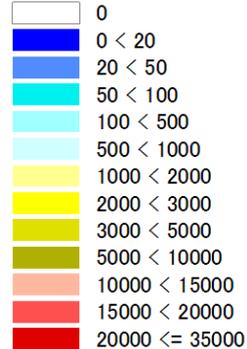
27-1. とよの 豊能医療圏

構成市区町村¹⁰ [豊中市](#) [池田市](#) [吹田市](#) [箕面市](#)
[豊能町](#) [能勢町](#)

人口分布¹（1km²区画単位）



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(豊能医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 豊能(豊中市)は、総人口約1008千人(2015年推計)、面積275km²、人口密度は3658人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 豊能の総人口は2025年に968千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に865千人へと減少する(2025年比-11%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の119千人が、2025年にかけて173千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には174千人へと増加する(2025年比+1%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 豊能の一人当たり医療費(国保)は334千円(偏差値54)、介護給付費は242千円(偏差値47)であり、医療費はやや高いが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 豊能の一人当たり急性期医療密度指数²は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.57で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が59(病院医師数59、診療所医師数56)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。豊能には、年間全身麻酔件数が2000例以上の市立豊中病院(Ⅲ群)、大阪大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の市立池田病院(Ⅲ群)、箕面市立病院(Ⅲ群)、済生会吹田病院(Ⅲ群)、済生会千里病院(Ⅲ群・救命)、市立吹田市民病院(Ⅲ群)、国立循環器病研究センター(Ⅱ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は47で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は58で診療所数は多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 豊能の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、11764人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5853床(偏差値41)、高齢者住宅等が5911床(偏差値57)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、8332人(75歳以上1000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム47、介護療養型医療施設なし(偏差値40)、有料老人ホーム58、軽費ホーム53、グループホーム44、サ高住56である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値46とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値55とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、2514人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-49%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

豊能医療圏の総人口は、2005年1006084人が、2015年に1007617人と1%未満増加し、2025年の人口が968191人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に18%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

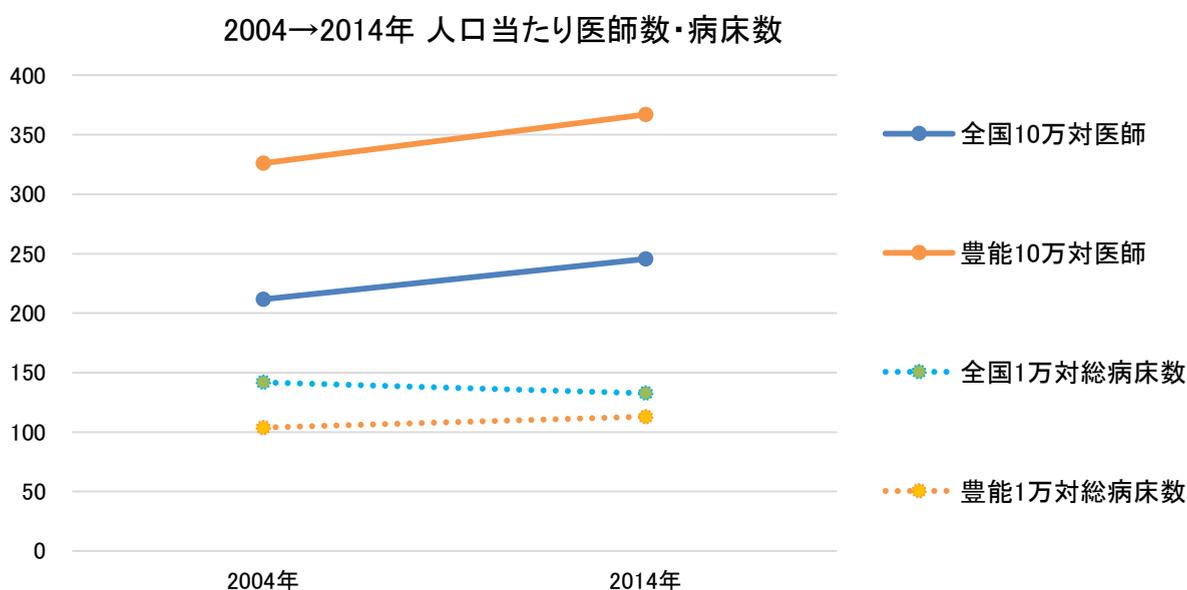
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が46(人口10万人当たり4.6病院(全国平均7.1)偏差値43)であったが、2014年に48(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で2病院が増加した。

2004年の診療所数が914(人口10万人当たり91診療所(全国平均76)偏差値57)であったが、2014年に962(人口10万人当たり95診療所(全国平均79)偏差値58)と、48診療所が増加した。

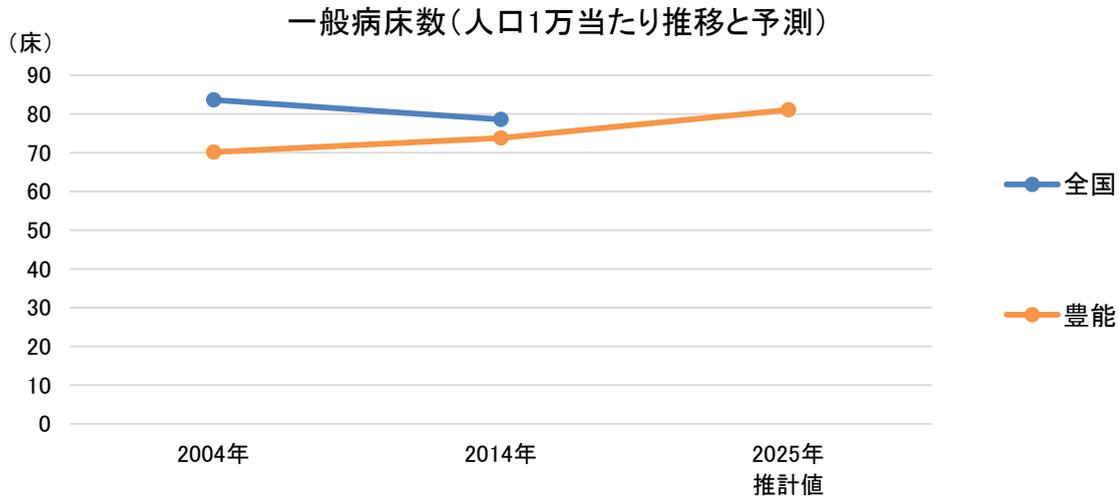
2004年の総病床数が10446床(人口1万人当たり104(全国平均142)偏差値43)であったが、2014年に11377床(人口1万人当たり113(全国平均133)偏差値46)と、931床の増加、率にして9%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が3281人(人口10万人当たり326人(全国平均212人)偏差値64)であったが、2014年に3699人(人口10万人当たり367人(全国平均246人)偏差値62)と、418人の増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



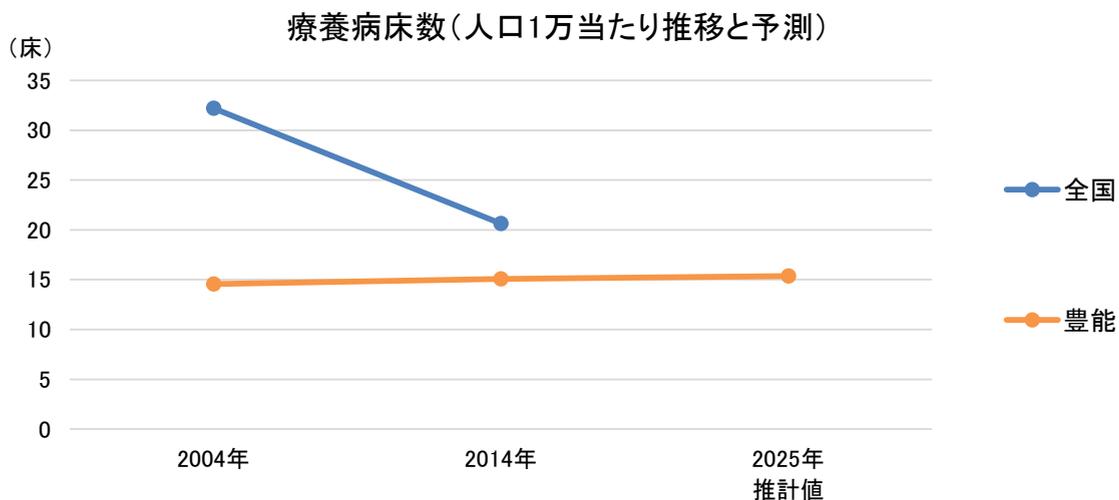
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が7064床(人口1万人当たり70(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に7438床(人口1万人当たり74(全国平均79)偏差値48)と、374床の増加、率にして5%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には7849床(2025年の推計人口1万人当たり81)になることが予想される。



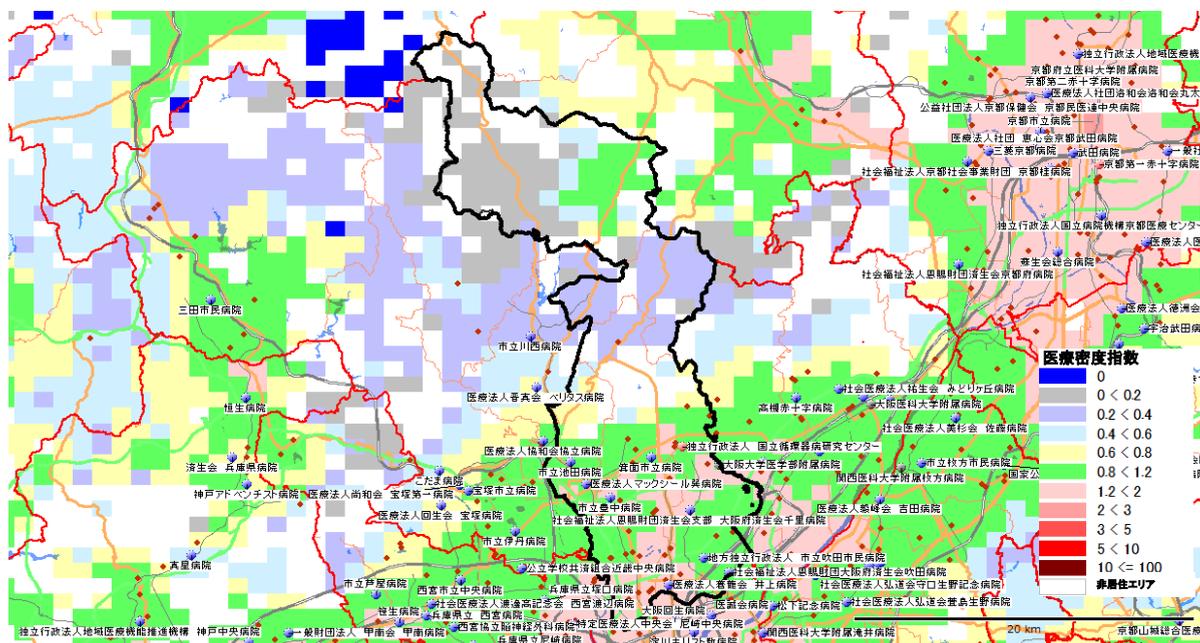
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1022床(75歳以上1000人当たり15(全国平均32)偏差値40)であったが、2014年に1800床(75歳以上1000人当たり15(全国平均21)偏差値45)と、778床の増加、率にして76%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2656床(2025年の推計75歳以上1000人当たり15)になることが予想される。

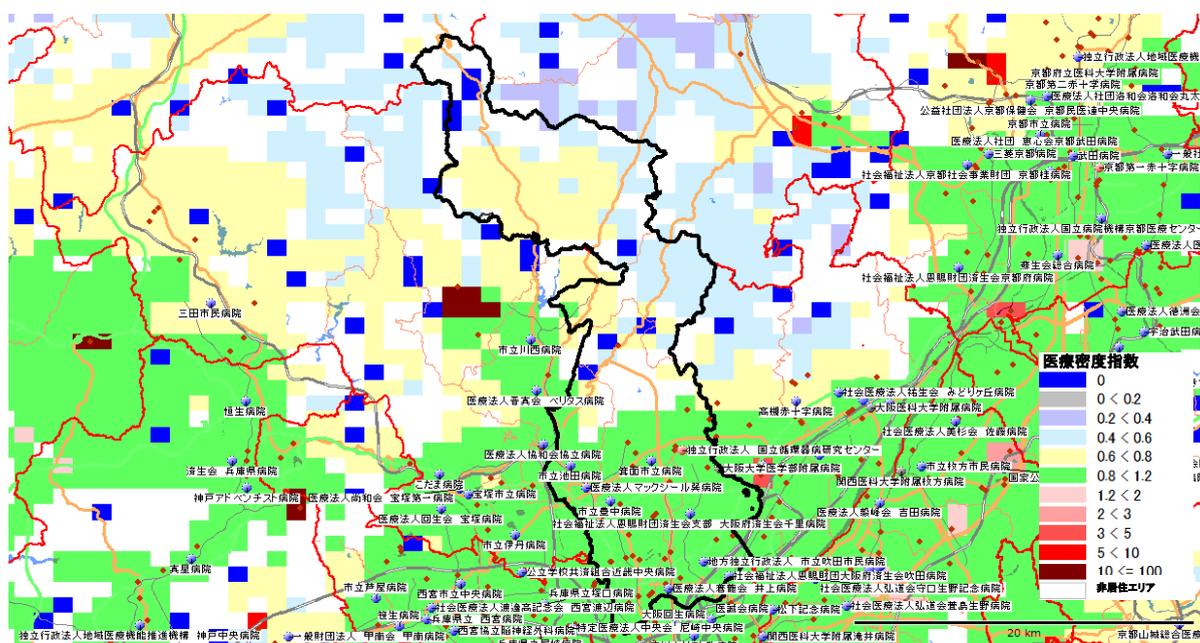


3. 医療密度⁵

図表27-1-1 急性期医療密度指数マップ



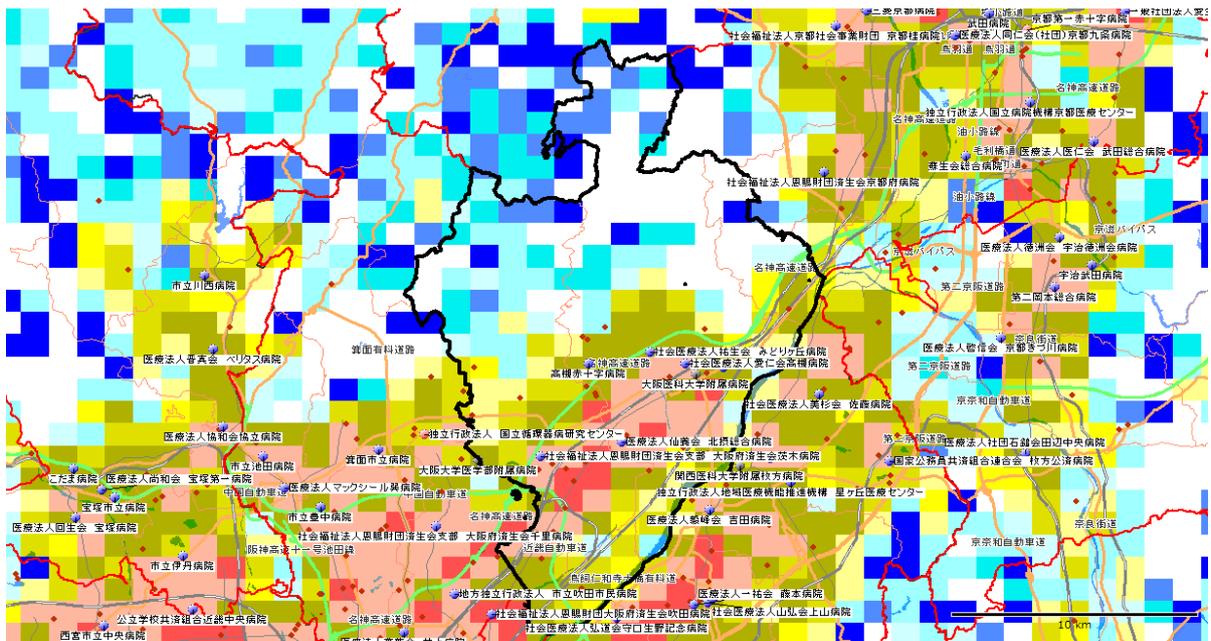
図表27-1-2 慢性期医療密度指数マップ



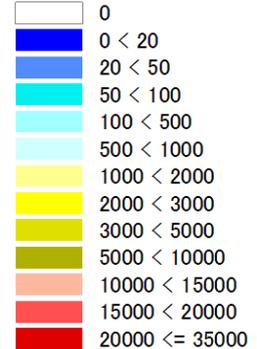
27-2. みしま 三島医療圏

構成市区町村¹⁰ [高槻市](#) [茨木市](#) [摂津市](#) [島本町](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

（三島医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 三島(高槻市)は、総人口約749千人(2015年推計)、面積213km²、人口密度は3509人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 三島の総人口は2025年に731千人へと減少し(2015年比-2%)、2040年に667千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の85千人が、2025年にかけて131千人へと増加し(2015年比+54%)、2040年には125千人へと減少する(2025年比-5%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 三島の一人当たり医療費(国保)は346千円(偏差値57)、介護給付費は206千円(偏差値37)であり、医療費は高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 三島の一人当たり急性期医療密度指数²は1、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.62で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が52(病院医師数54、診療所医師数49)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。三島には、年間全身麻酔件数が2000例以上の高槻病院(Ⅲ群)、大阪医科大学附属病院(Ⅰ群)、1000例以上の北摂総合病院(Ⅲ群)、第一東和会病院(Ⅲ群)、高槻赤十字病院(Ⅲ群)、500例以上の済生会茨木病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値55とやや多い。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は54で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は49で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 三島の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6992人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が3981床(偏差値40)、高齢者住宅等が3011床(偏差値47)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5004人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム45、介護療養型医療施設42、有料老人ホーム51、軽費ホーム57、グループホーム40、サ高住49である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値70と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値50と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、1242人(75歳以上1000人当たりの偏差値52)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-75%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

三島医療圏の総人口は、2005年733848人が、2015年に749034人と2%増加し、2025年の人口が730980人と予測され、2005年→2025年の間に1%未満の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

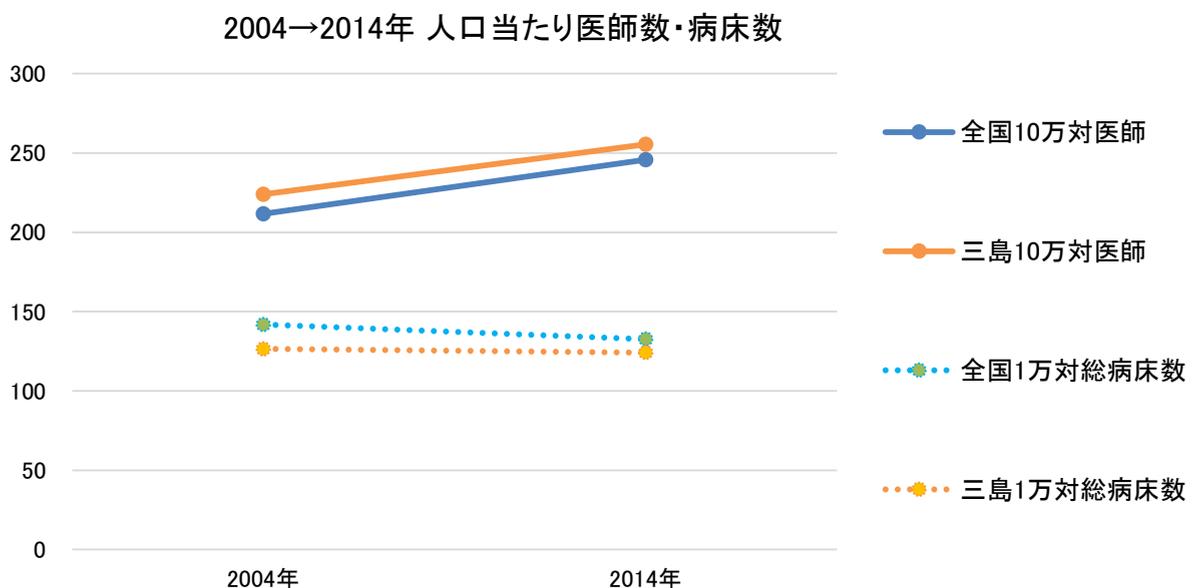
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が38(人口10万人当たり5.2病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に39(人口10万人当たり5.2病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で1病院が増加した。

2004年の診療所数が539(人口10万人当たり73診療所(全国平均76)偏差値49)であったが、2014年に577(人口10万人当たり77診療所(全国平均79)偏差値49)と、38診療所が増加した。

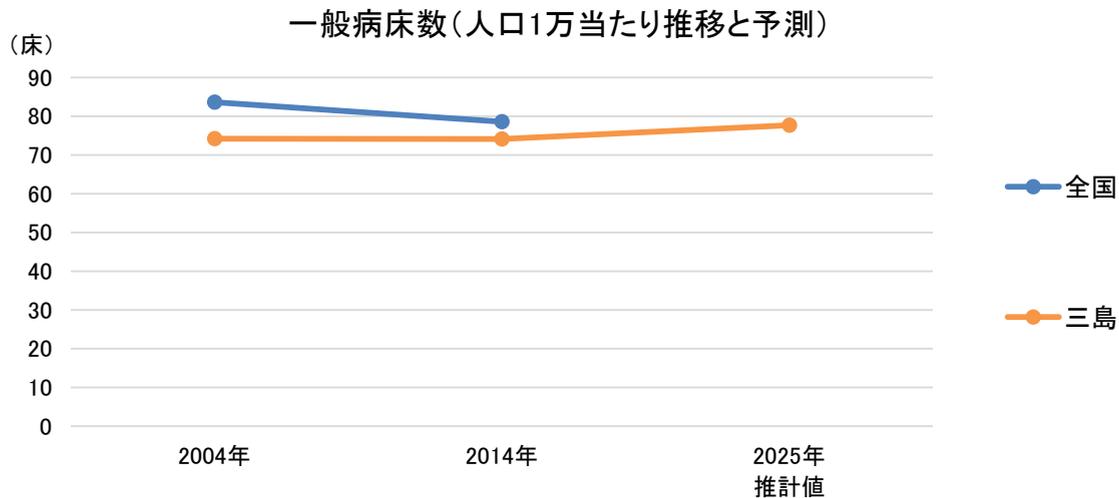
2004年の総病床数が9283床(人口1万人当たり126(全国平均142)偏差値47)であったが、2014年に9297床(人口1万人当たり124(全国平均133)偏差値48)と、14床の増加、率にして1%未満の増加(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1643人(人口10万人当たり224人(全国平均212人)偏差値51)であったが、2014年に1914人(人口10万人当たり256人(全国平均246人)偏差値51)と、271人の増加、率にして16%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



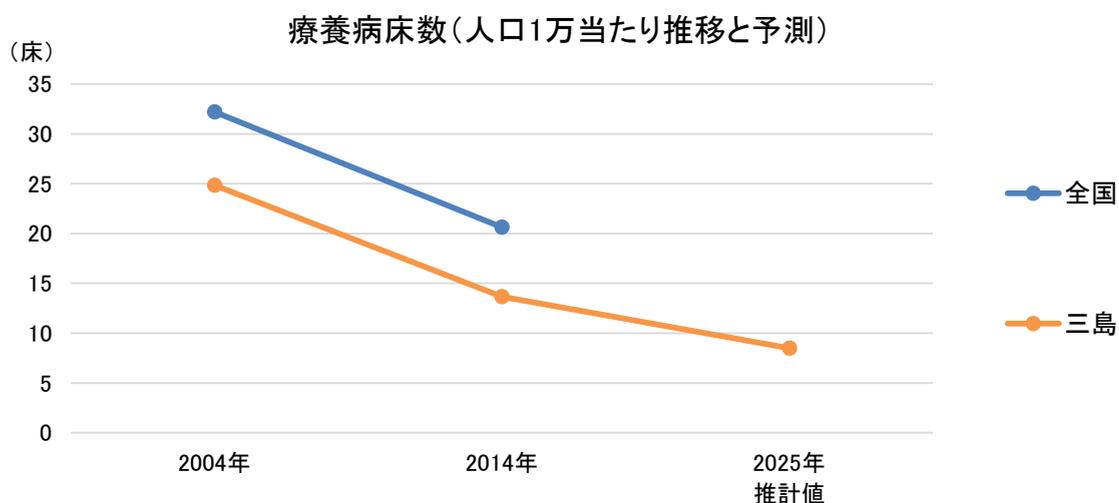
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5444床(人口1万人当たり74(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に5555床(人口1万人当たり74(全国平均79)偏差値48)と、111床の増加、率にして2%の増加(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には5677床(2025年の推計人口1万人当たり78)になることが予想される。



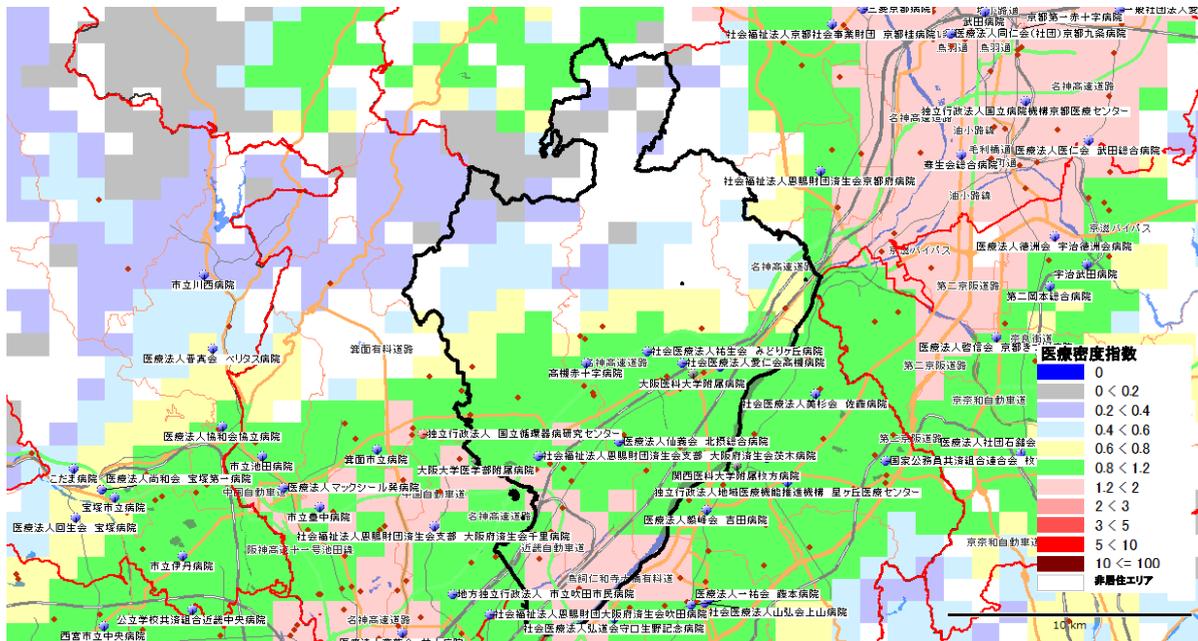
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1213床(75歳以上1000人当たり25(全国平均32)偏差値46)であったが、2014年に1165床(75歳以上1000人当たり14(全国平均21)偏差値44)と、48床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には1112床(2025年の推計75歳以上1000人当たり8)になることが予想される。

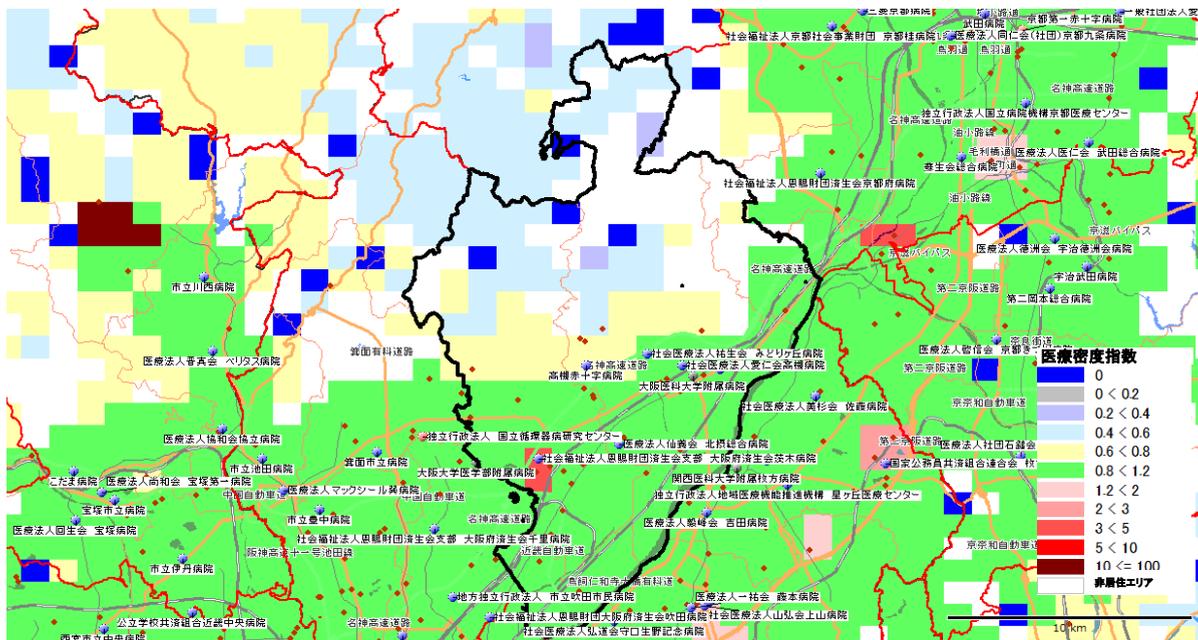


3. 医療密度⁵

図表27-2-1 急性期医療密度指数マップ



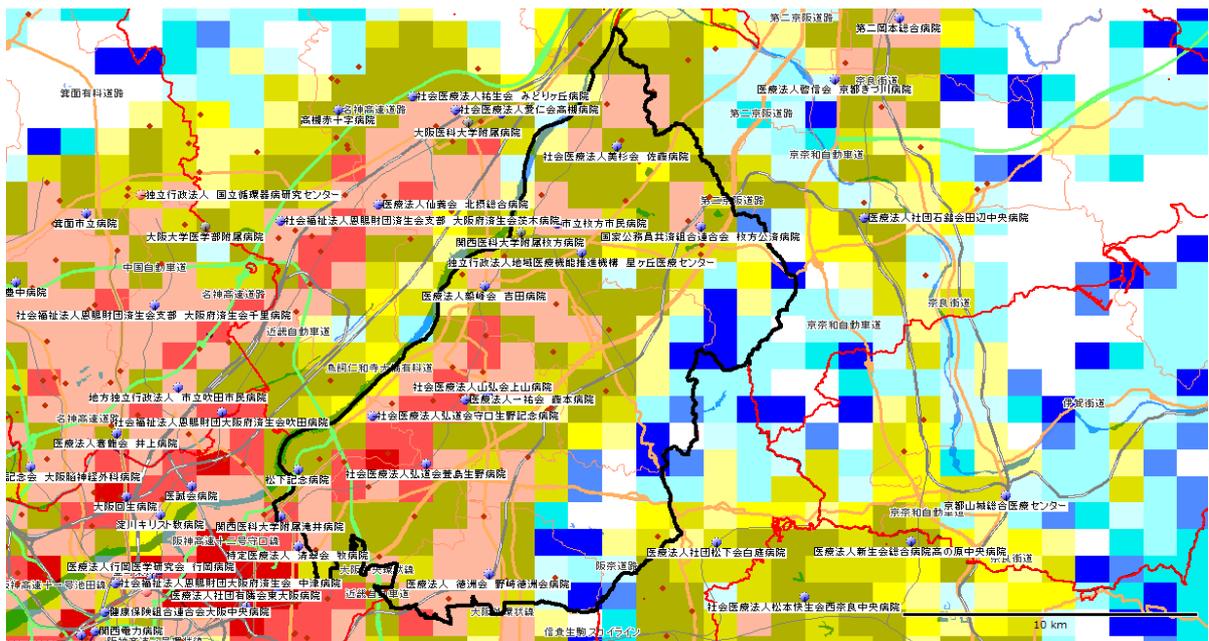
図表27-2-2 慢性期医療密度指数マップ



27-3. きたかわち 北河内医療圏

構成市区町村¹⁰ [守口市](#) [枚方市](#) [寝屋川市](#) [大東市](#)
[門真市](#) [四條畷市](#) [交野市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群
一般病院

(北河内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 北河内(守口市)は、総人口約1172千人(2015年推計)、面積177km²、人口密度は6609人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 北河内の総人口は2025年に1109千人へと減少し(2015年比-5%)、2040年に956千人へと減少する(2025年比-14%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の138千人が、2025年にかけて215千人へと増加し(2015年比+56%)、2040年には201千人へと減少する(2025年比-7%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 北河内の一人当たり医療費(国保)は323千円(偏差値51)、介護給付費は234千円(偏差値45)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費はやや低い。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 北河内の一人当たり急性期医療密度指数²は1、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.68で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数47、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は47で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。北河内には、年間全身麻酔件数が2000例以上の関西医科大学附属滝井病院(Ⅲ群・救命)、関西医科大学附属枚方病院(Ⅰ群・救命)、1000例以上の市立ひらかた病院(Ⅲ群)、JCHO星ヶ丘医療センター(Ⅲ群)、松下記念病院(Ⅲ群)、野崎徳洲会病院(Ⅱ群)、500例以上の関西医科大学香里病院(Ⅲ群)、枚方公済病院(Ⅲ群)、嚙生会脳神経外科病院(Ⅲ群)、佐藤病院(Ⅲ群)、小松病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は46と療養病床数はやや少ない。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 北河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、13581人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が6721床(偏差値41)、高齢者住宅等が6860床(偏差値57)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、9667人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム44、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム55、軽費ホーム53、グループホーム45、サ高住61である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値54とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員(在宅)の合計は、2918人(75歳以上1000人当たりの偏差値64)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-58%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

北河内医療圏の総人口は、2005年1186521人が、2015年に1172288人と1%減少し、2025年の人口が1108862人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に21%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

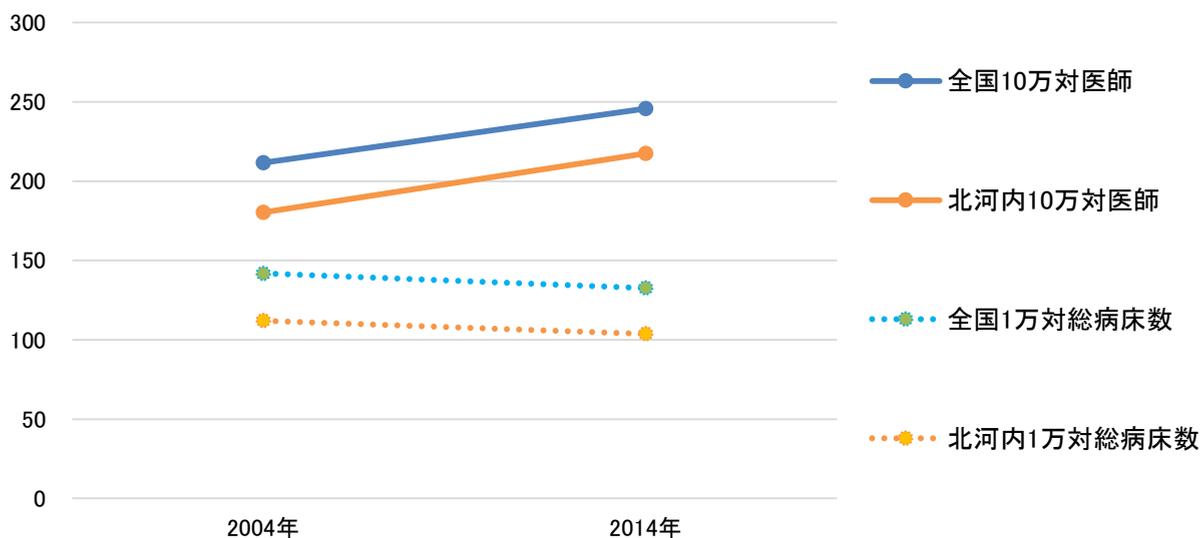
2004年の病院数が61(人口10万人当たり5.1病院(全国平均7.1)偏差値45)であったが、2014年に59(人口10万人当たり5病院(全国平均6.7)偏差値46)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が895(人口10万人当たり75診療所(全国平均76)偏差値50)であったが、2014年に879(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、16診療所が減少した。

2004年の総病床数が13300床(人口1万人当たり112(全国平均142)偏差値45)であったが、2014年に12171床(人口1万人当たり104(全国平均133)偏差値45)と、1129床の減少、率にして8%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

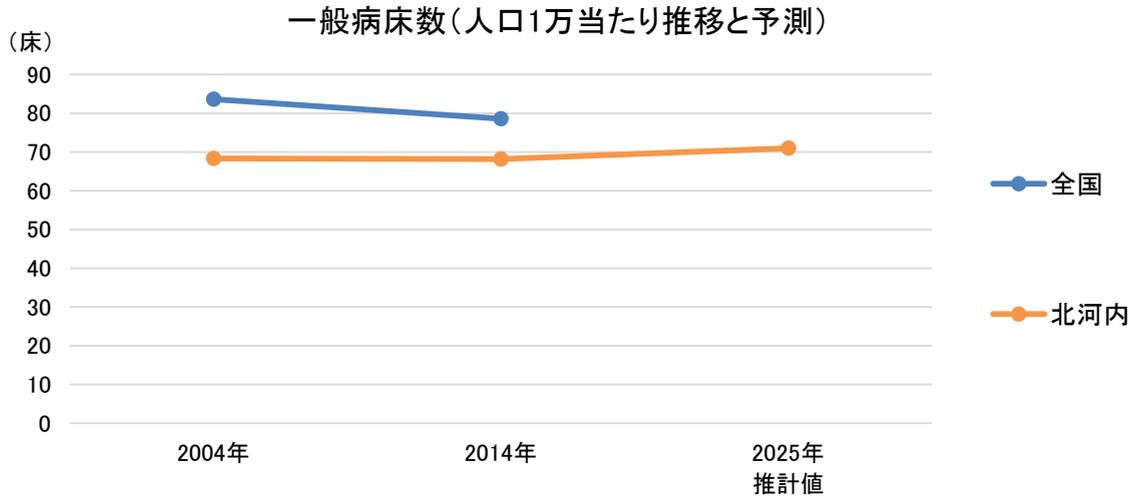
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が2139人(人口10万人当たり180人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2014年に2549人(人口10万人当たり217人(全国平均246人)偏差値47)と、410人の増加、率にして19%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



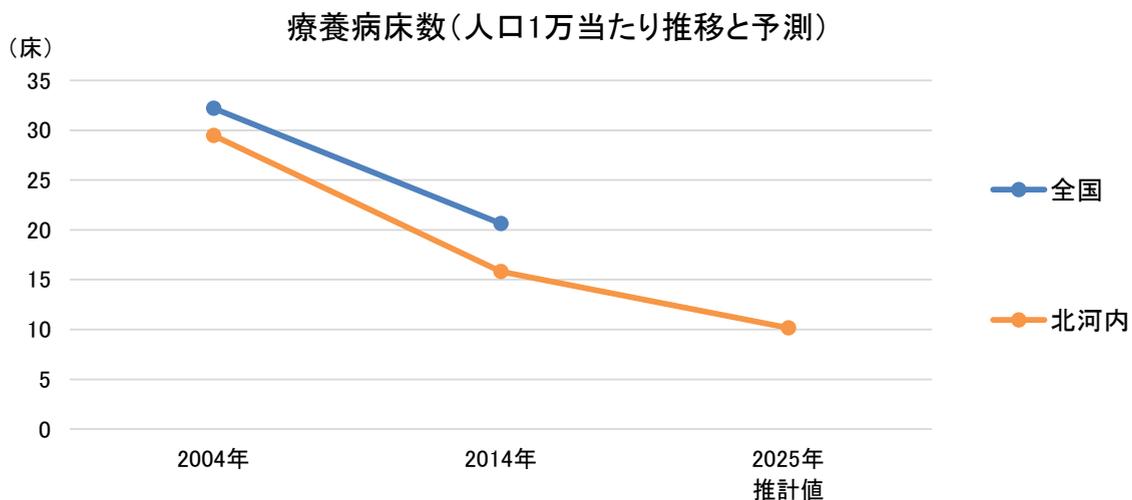
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が8106床(人口1万人当たり68(全国平均84)偏差値45)であったが、2014年に7996床(人口1万人当たり68(全国平均79)偏差値46)と、110床の減少、率にして1%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には7875床(2025年の推計人口1万人当たり71)になることが予想される。



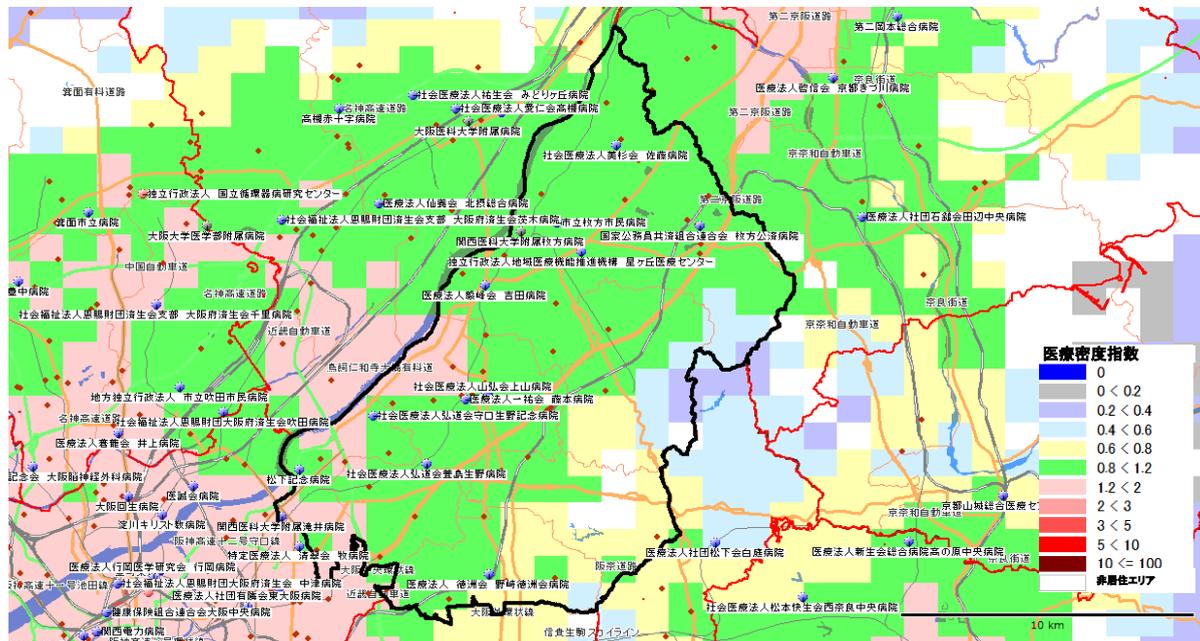
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が2161床(75歳以上1000人当たり29(全国平均32)偏差値48)であったが、2014年に2175床(75歳以上1000人当たり16(全国平均21)偏差値46)と、14床の増加、率にして1%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には2190床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

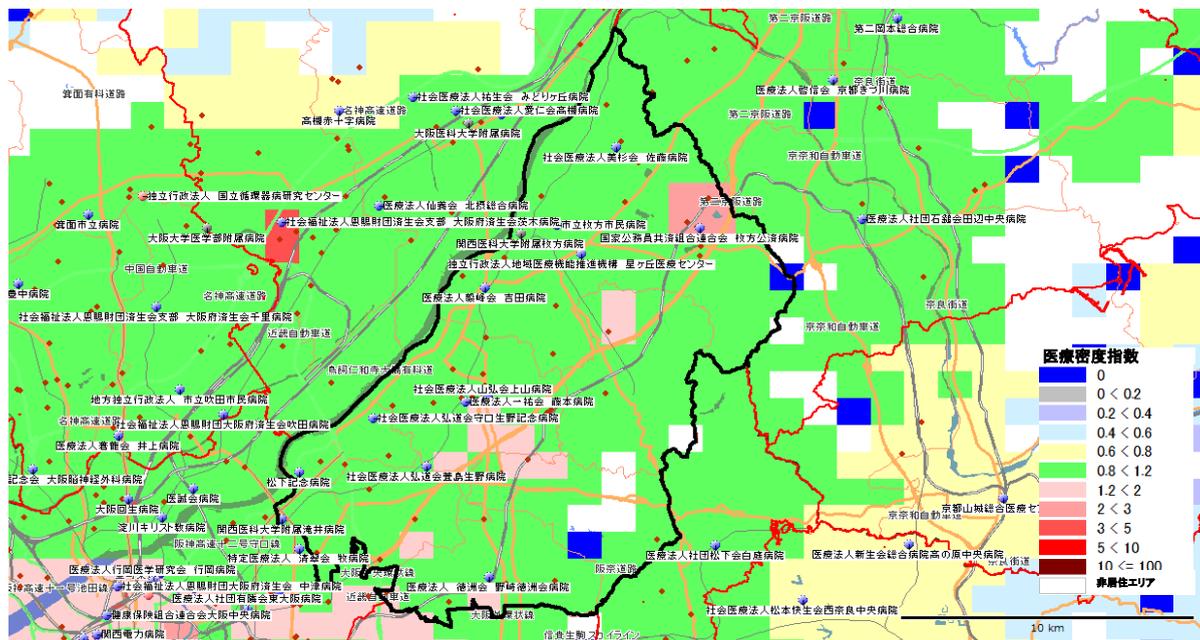


3. 医療密度⁵

図表27-3-1 急性期医療密度指数マップ



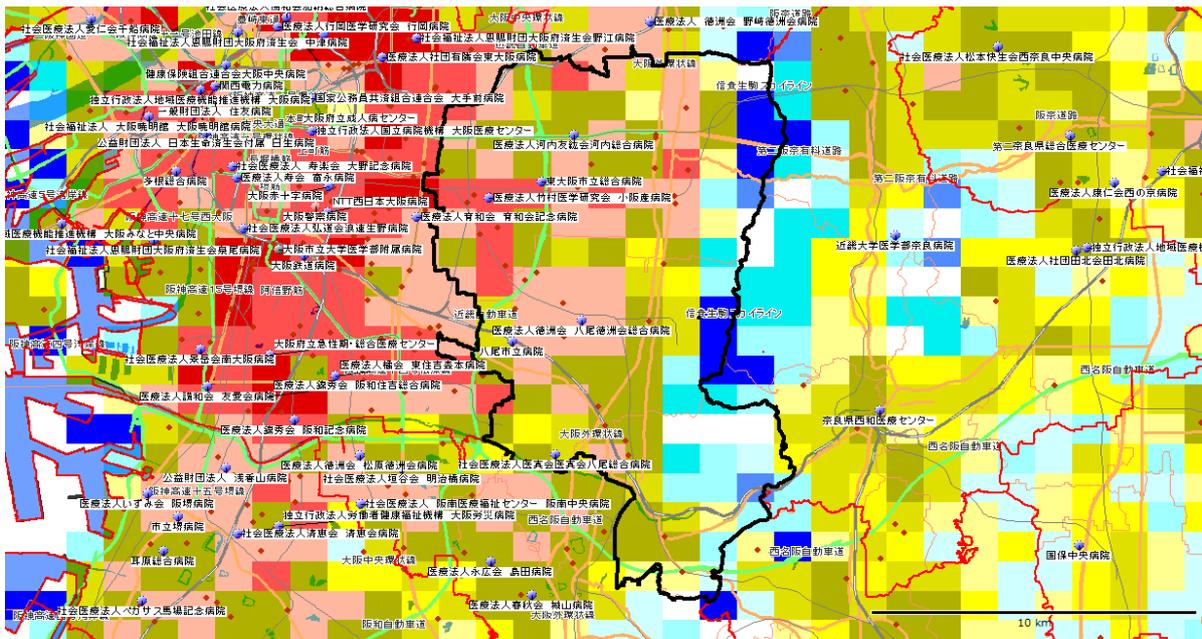
図表27-3-2 慢性期医療密度指数マップ



なかかわち 27-4. 中河内医療圏

構成市区町村¹⁰ [八尾市](#) [柏原市](#) [東大阪市](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（中河内医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 中河内(八尾市)は、総人口約838千人(2015年推計)、面積129km²、人口密度は6498人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 中河内の総人口は2025年に779千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に659千人へと減少する(2025年比-15%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の105千人が、2025年にかけて150千人へと増加し(2015年比+43%)、2040年には137千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 中河内の一人当たり医療費(国保)は328千円(偏差値52)、介護給付費は257千円(偏差値51)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 中河内の一人当たり急性期医療密度指数²は0.87、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.15で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が44(病院医師数42、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は41と少ない。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。中河内には、年間全身麻酔件数が2000例以上の八尾市立病院(Ⅲ群)、1000例以上の東大阪市立総合病院(Ⅲ群)、八尾徳洲会総合病院(Ⅲ群)、500例以上の医真会八尾総合病院(Ⅲ群)、河内総合病院(Ⅲ群)、若草第一病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は48で精神病床数は全国平均レベルである。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は50で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 中河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、10018人(75歳以上1000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が5076床(偏差値41)、高齢者住宅等が4942床(偏差値55)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6422人(75歳以上1000人当たりの偏差値37)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設39、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム45、軽費ホーム45、グループホーム46、サ高住73である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値48と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値56と多い。介護職員(在宅)の合計は、2809人(75歳以上1000人当たりの偏差値74)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-62%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

中河内医療圏の総人口は、2005年864342人が、2015年に837620人と3%減少し、2025年の人口が779398人と予測され、2005年→2025年の間に10%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に17%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

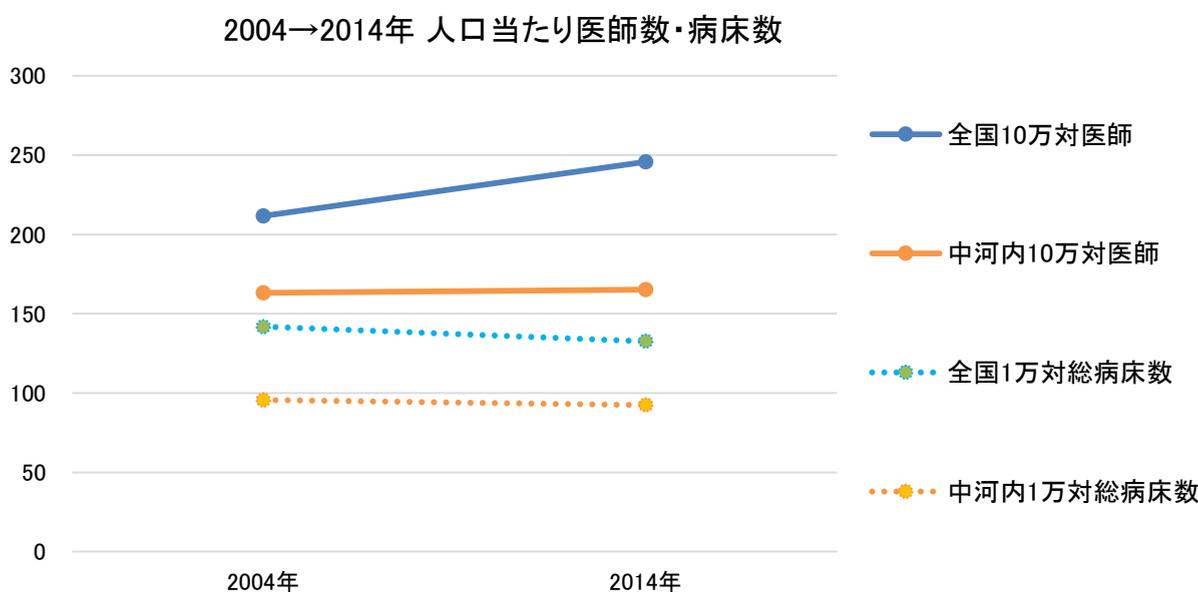
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が43(人口10万人当たり5病院(全国平均7.1)偏差値44)であったが、2014年に40(人口10万人当たり4.8病院(全国平均6.7)偏差値45)となり、10年間で3病院が減少した。

2004年の診療所数が702(人口10万人当たり81診療所(全国平均76)偏差値53)であったが、2014年に661(人口10万人当たり79診療所(全国平均79)偏差値50)と、41診療所が減少した。

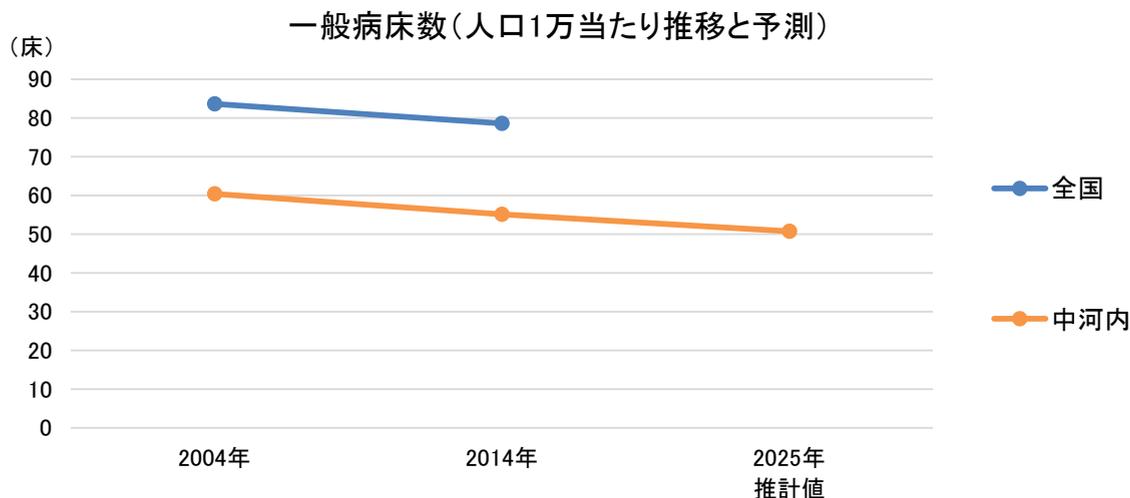
2004年の総病床数が8262床(人口1万人当たり96(全国平均142)偏差値42)であったが、2014年に7749床(人口1万人当たり93(全国平均133)偏差値43)と、513床の減少、率にして6%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1410人(人口10万人当たり163人(全国平均212人)偏差値44)であったが、2014年に1384人(人口10万人当たり165人(全国平均246人)偏差値42)と、26人の減少、率にして2%の減少(全国平均15%の増加)が見られた。



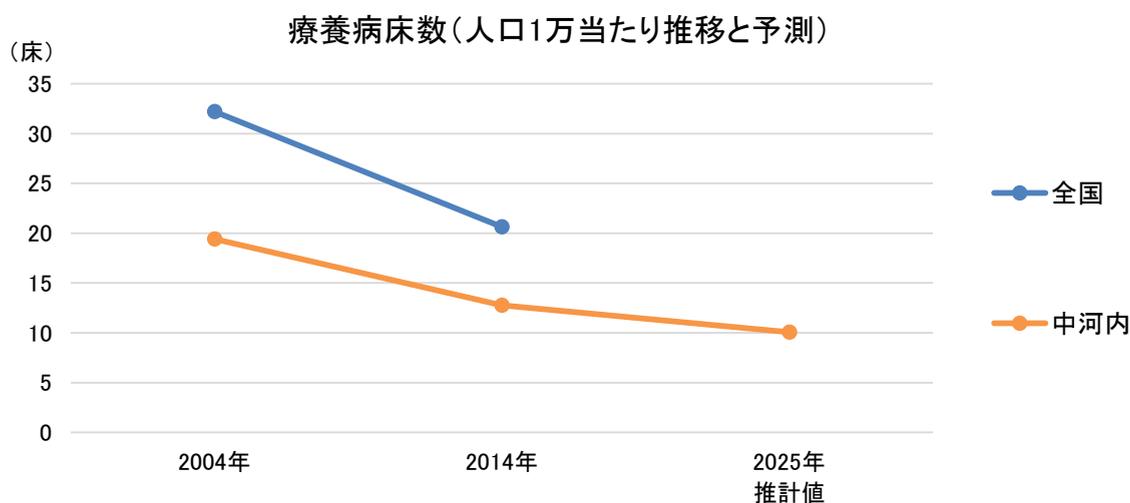
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5219床(人口1万人当たり60(全国平均84)偏差値42)であったが、2014年に4617床(人口1万人当たり55(全国平均79)偏差値41)と、602床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3955床(2025年の推計人口1万人当たり51)になることが予想される。



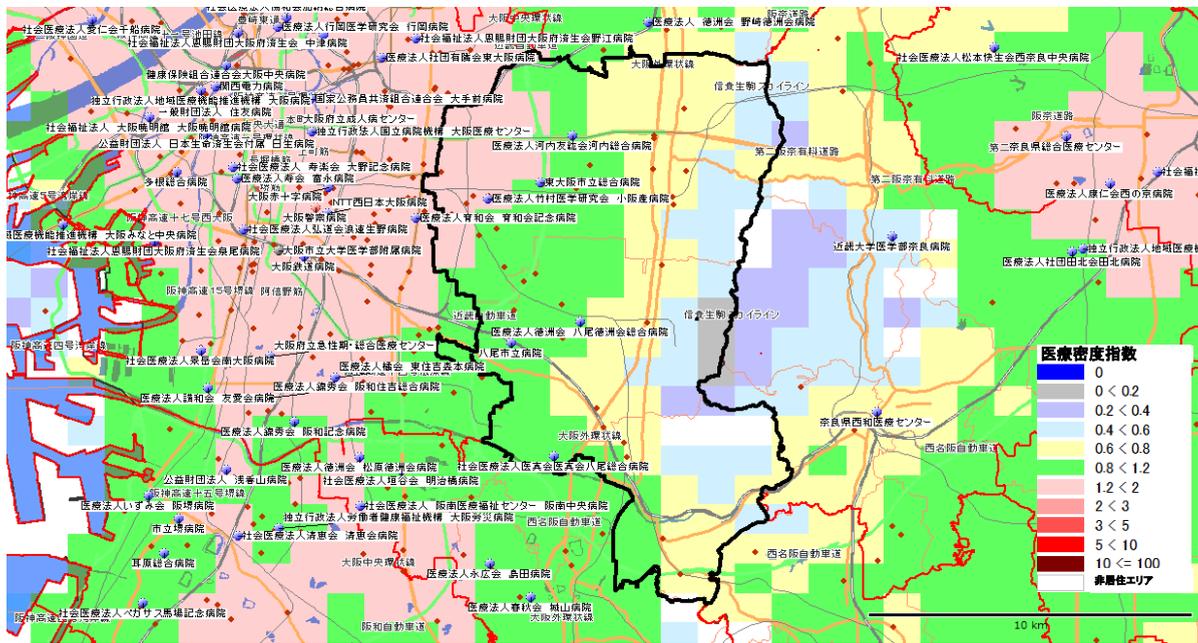
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1180床(75歳以上1000人当たり19(全国平均32)偏差値43)であったが、2014年に1335床(75歳以上1000人当たり13(全国平均21)偏差値43)と、155床の増加、率にして13%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1506床(2025年の推計75歳以上1000人当たり10)になることが予想される。

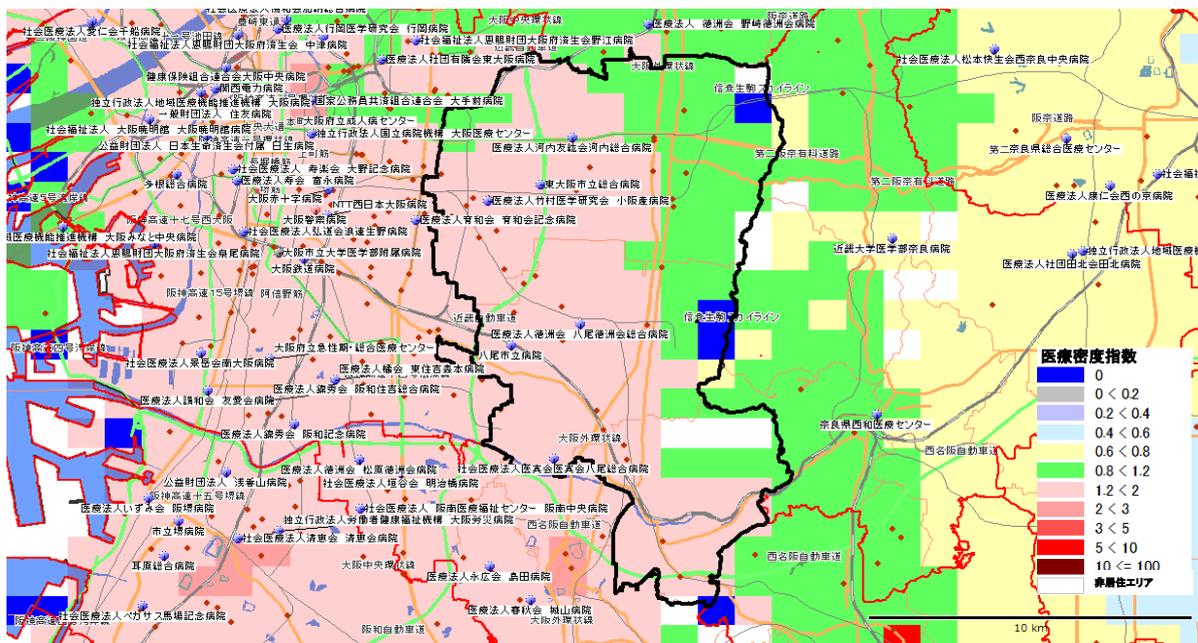


3. 医療密度⁵

図表27-4-1 急性期医療密度指数マップ



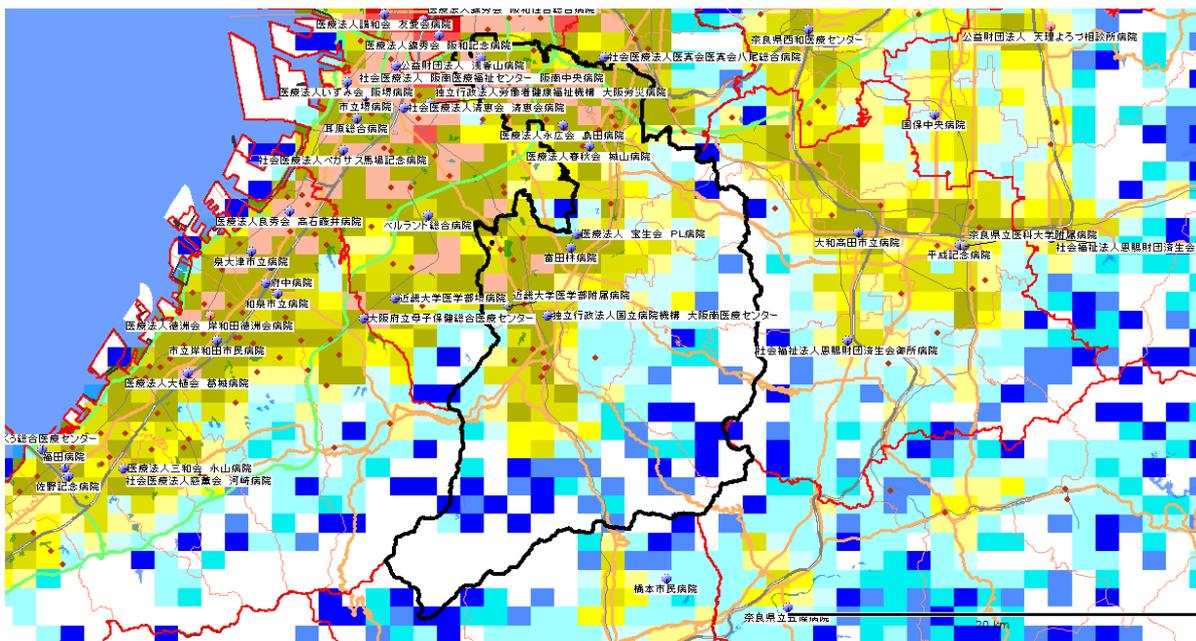
図表27-4-2 慢性期医療密度指数マップ



27-5. みなみかわち 南河内医療圏

構成市区町村¹⁰ [富田林市](#) [河内長野市](#) [松原市](#) [羽曳野市](#)
[藤井寺市](#) [大阪狭山市](#) [太子町](#) [河南町](#)
[千早赤阪村](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(南河内医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

- *人口、面積など： 南河内(富田林市)は、総人口約620千人(2015年推計)、面積290km²、人口密度は2138人/km²の大都市型二次医療圏である。
- *人口の将来予測： 南河内の総人口は2025年に575千人へと減少し(2015年比-7%)、2040年に484千人へと減少する(2025年比-16%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の80千人が、2025年にかけて116千人へと増加し(2015年比+45%)、2040年には111千人へと減少する(2025年比-4%)ことが予想される。
- *医療費と介護給付費： 南河内の一人当たり医療費(国保)は331千円(偏差値53)、介護給付費は249千円(偏差値49)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

- *入院医療の充実度： 南河内の一人当たり急性期医療密度指数²は0.93、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.65で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。
- *医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が53(病院医師数56、診療所医師数46)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は多い。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。
- *一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は53で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は52と全国平均レベルである。南河内には、年間全身麻酔件数が2000例以上の近畿大学医学部附属病院(I群・救命)、1000例以上の国立病院機構大阪南医療センター(Ⅲ群)、P L病院(Ⅲ群)、島田病院(Ⅲ群)、500例以上の富田林病院(Ⅲ群)、松原徳洲会病院(Ⅲ群)、城山病院(Ⅲ群)がある。
- *療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は52と療養病床数は全国平均レベルである。
- *リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値44と少ない。
- *精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。
- *診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

- *介護施設の現状： 南河内の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6790人(75歳以上1000人当たりの偏差値42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4100床(偏差値43)、高齢者住宅等が2690床(偏差値46)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、5648人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設48、有料老人ホーム48、軽費ホーム53、グループホーム44、サ高住49である。

- *在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値64と多く、在宅療養支援病院は偏差値57と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、1501人(75歳以上1000人当たりの偏差値60)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

- *介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-57%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

南河内医療圏の総人口は、2005年649601人が、2015年に619835人と5%減少し、2025年の人口が574652人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて4%程度の増加が予測される。

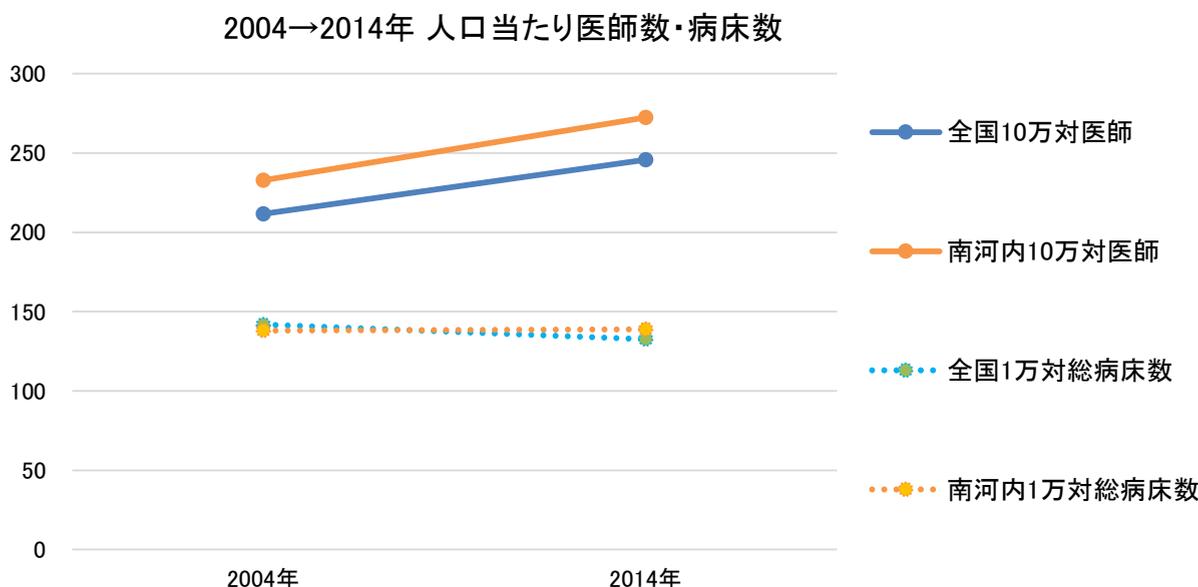
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が39(人口10万人当たり6病院(全国平均7.1)偏差値47)であったが、2014年に39(人口10万人当たり6.3病院(全国平均6.7)偏差値49)となり、10年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が437(人口10万人当たり67診療所(全国平均76)偏差値46)であったが、2014年に465(人口10万人当たり75診療所(全国平均79)偏差値48)と、28診療所が増加した。

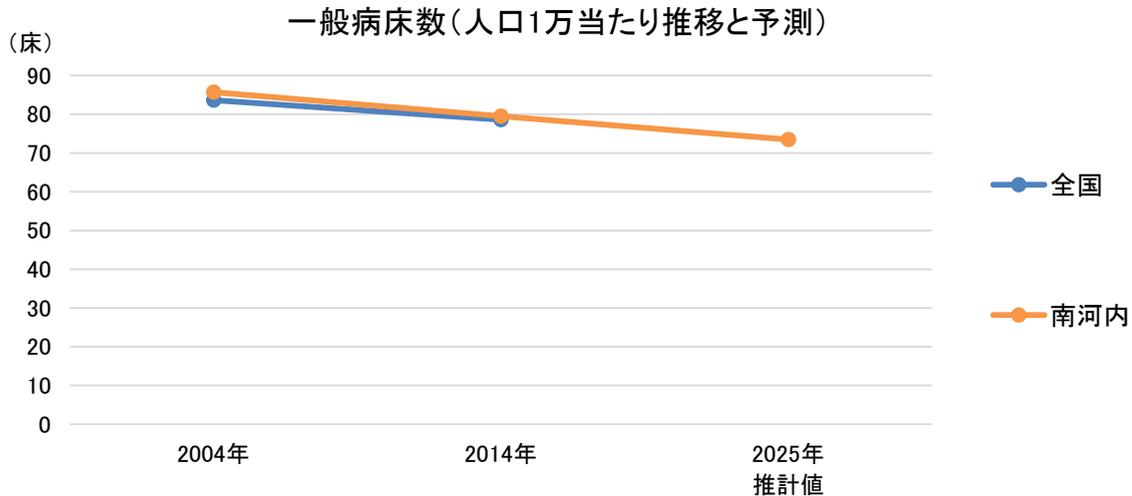
2004年の総病床数が8970床(人口1万人当たり138(全国平均142)偏差値49)であったが、2014年に8612床(人口1万人当たり139(全国平均133)偏差値51)と、358床の減少、率にして4%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1513人(人口10万人当たり233人(全国平均212人)偏差値53)であったが、2014年に1689人(人口10万人当たり272人(全国平均246人)偏差値53)と、176人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



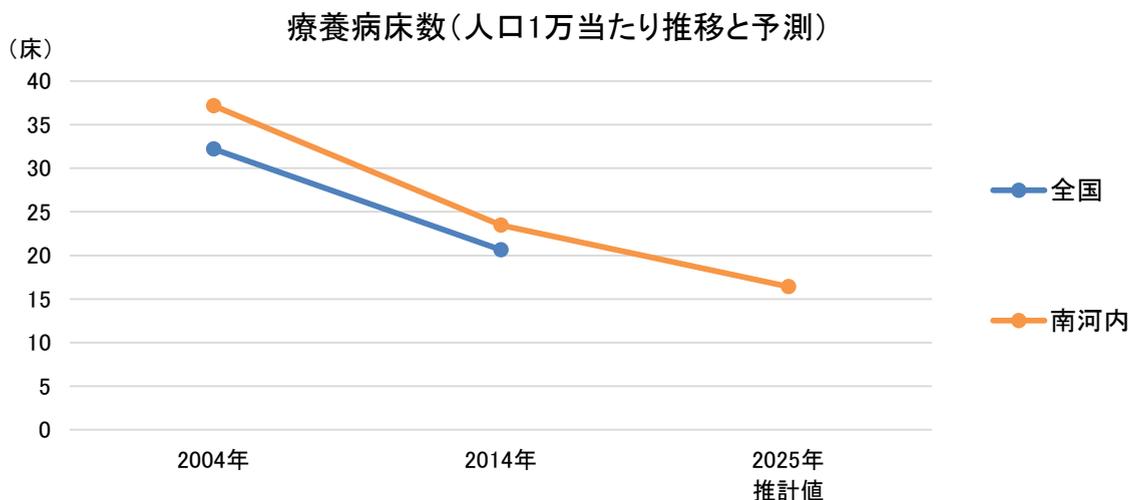
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5568床(人口1万人当たり86(全国平均84)偏差値51)であったが、2014年に4927床(人口1万人当たり79(全国平均79)偏差値50)と、641床の減少、率にして12%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4222床(2025年の推計人口1万人当たり73)になることが予想される。



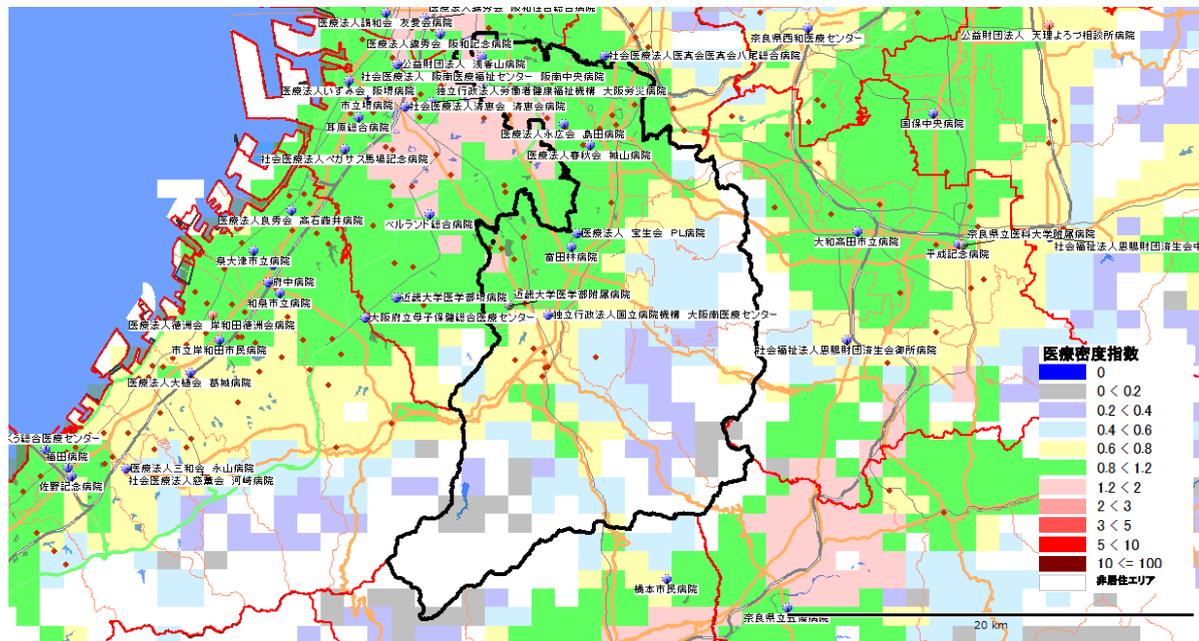
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が1837床(75歳以上1000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に1867床(75歳以上1000人当たり23(全国平均21)偏差値52)と、30床の増加、率にして2%の増加(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で増加が続くとすると2025年には1900床(2025年の推計75歳以上1000人当たり16)になることが予想される。

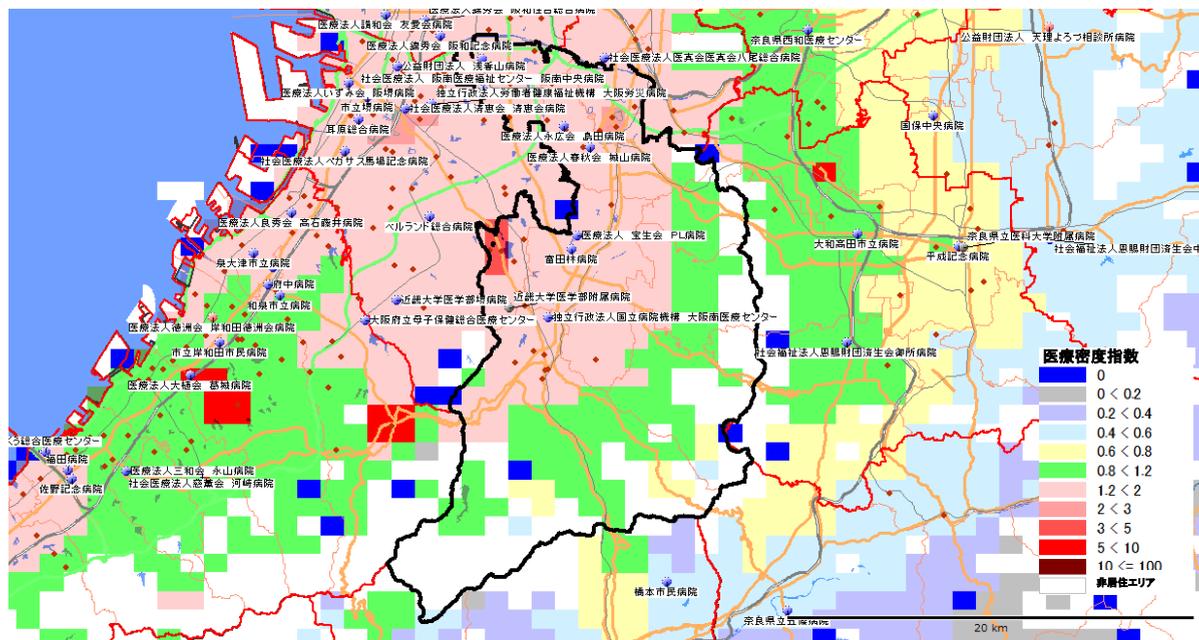


3. 医療密度⁵

図表27-5-1 急性期医療密度指数マップ



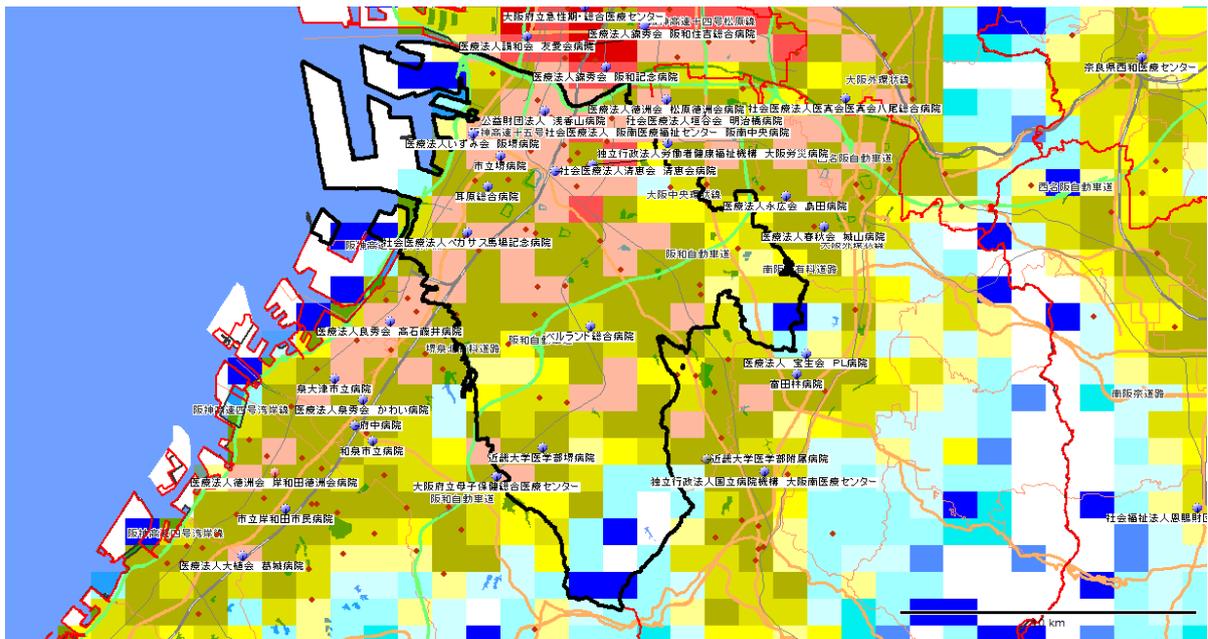
図表27-5-2 慢性期医療密度指数マップ



27-6. さかいし 堺市医療圏

構成市区町村¹⁰ [堺区](#) [中区](#) [東区](#) [西区](#)
[南区](#) [北区](#) [美原区](#)

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

（堺市医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 堺市(堺市堺区)は、総人口約842千人(2015年推計)、面積150km²、人口密度は5611人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 堺市の総人口は2025年に814千人へと減少し(2015年比-3%)、2040年に739千人へと減少する(2025年比-9%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の100千人が、2025年にかけて146千人へと増加し(2015年比+46%)、2040年には135千人へと減少する(2025年比-8%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 堺市の一人当たり医療費(国保)は340千円(偏差値55)、介護給付費は260千円(偏差値52)であり、医療費はやや高く、介護給付費は全国平均レベルである。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 堺市の一人当たり急性期医療密度指数²は1.09、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.57で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり余裕がある。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が49(病院医師数48、診療所医師数52)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。堺市には、年間全身麻酔件数が2000例以上の大阪労災病院(Ⅲ群)、1000例以上の市立堺病院(Ⅲ群・救命)、ベルランド総合病院(Ⅱ群)、500例以上の近畿大学医学部堺病院(Ⅲ群)、馬場記念病院(Ⅲ群)、清恵会病院(Ⅲ群)、耳原総合病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は59と療養病床数は多い。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値53とやや多く、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は53で精神病床数はやや多い。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 堺市の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、9073人(75歳以上1000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4662床(偏差値40)、高齢者住宅等が4411床(偏差値53)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6520人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム46、軽費ホーム52、グループホーム50、サ高住63である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値66と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値63と多い。介護職員(在宅)の合計は、3029人(75歳以上1000人当たりの偏差値81)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-62%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

堺市医療圏の総人口は、2005年830966人が、2015年に841587人と1%増加し、2025年の人口が814289人と予測され、2005年→2025年の間に2%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に19%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

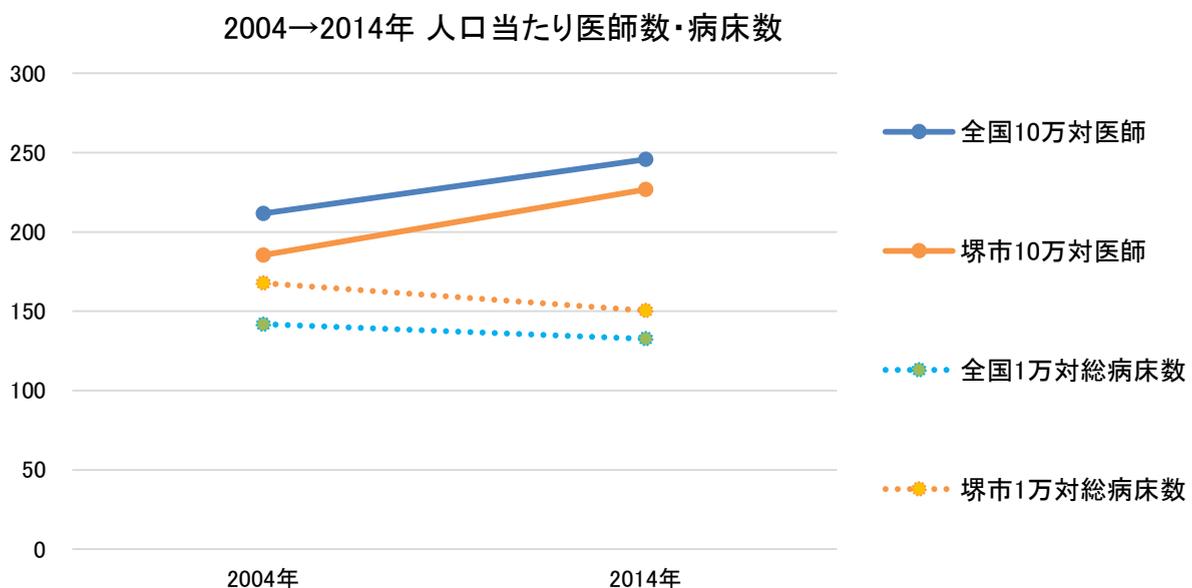
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が47(人口10万人当たり5.7病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2014年に45(人口10万人当たり5.3病院(全国平均6.7)偏差値47)となり、10年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が709(人口10万人当たり85診療所(全国平均76)偏差値55)であったが、2014年に716(人口10万人当たり85診療所(全国平均79)偏差値53)と、7診療所が増加した。

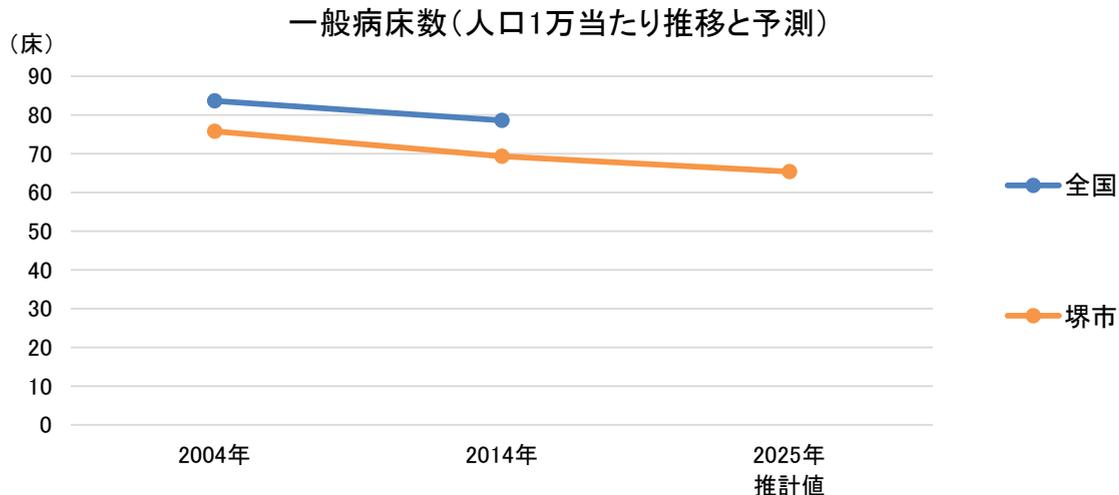
2004年の総病床数が13942床(人口1万人当たり168(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に12662床(人口1万人当たり150(全国平均133)偏差値53)と、1280床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1541人(人口10万人当たり185人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に1909人(人口10万人当たり227人(全国平均246人)偏差値48)と、368人の増加、率にして24%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



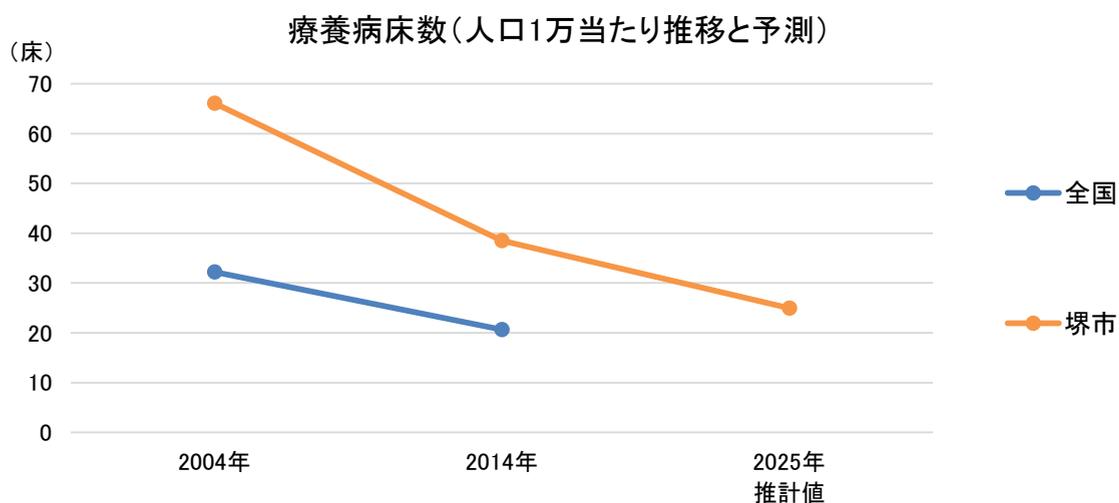
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が6298床(人口1万人当たり76(全国平均84)偏差値47)であったが、2014年に5835床(人口1万人当たり69(全国平均79)偏差値47)と、463床の減少、率にして7%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には5326床(2025年の推計人口1万人当たり65)になることが予想される。



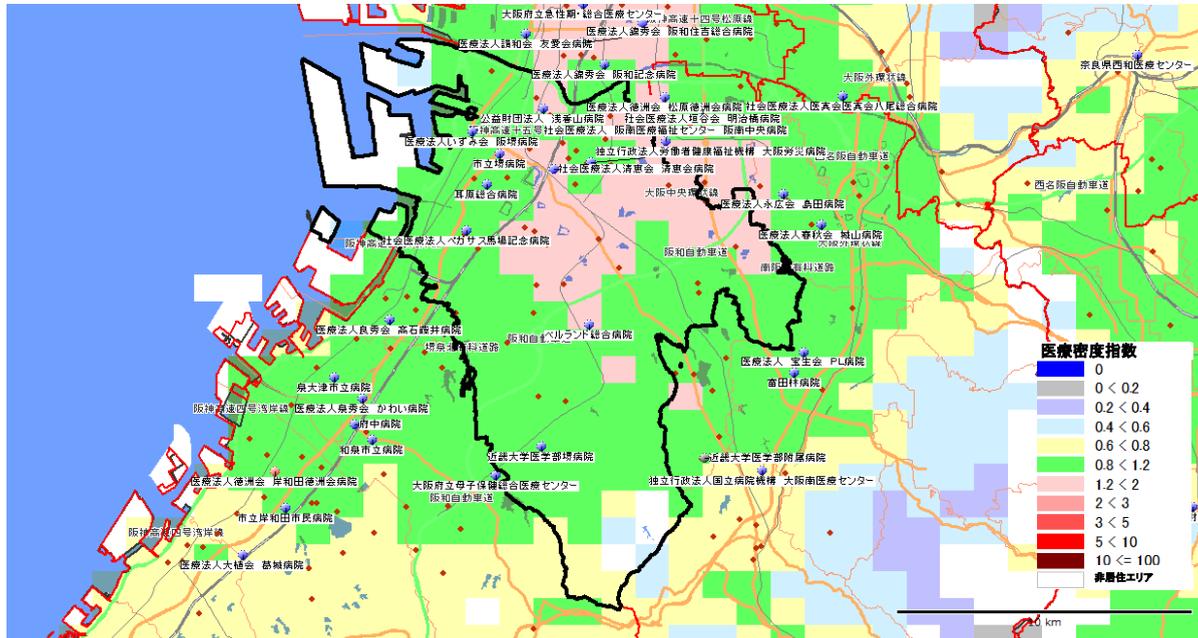
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4023床(75歳以上1000人当たり66(全国平均32)偏差値69)であったが、2014年に3846床(75歳以上1000人当たり39(全国平均21)偏差値65)と、177床の減少、率にして4%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3651床(2025年の推計75歳以上1000人当たり25)になることが予想される。

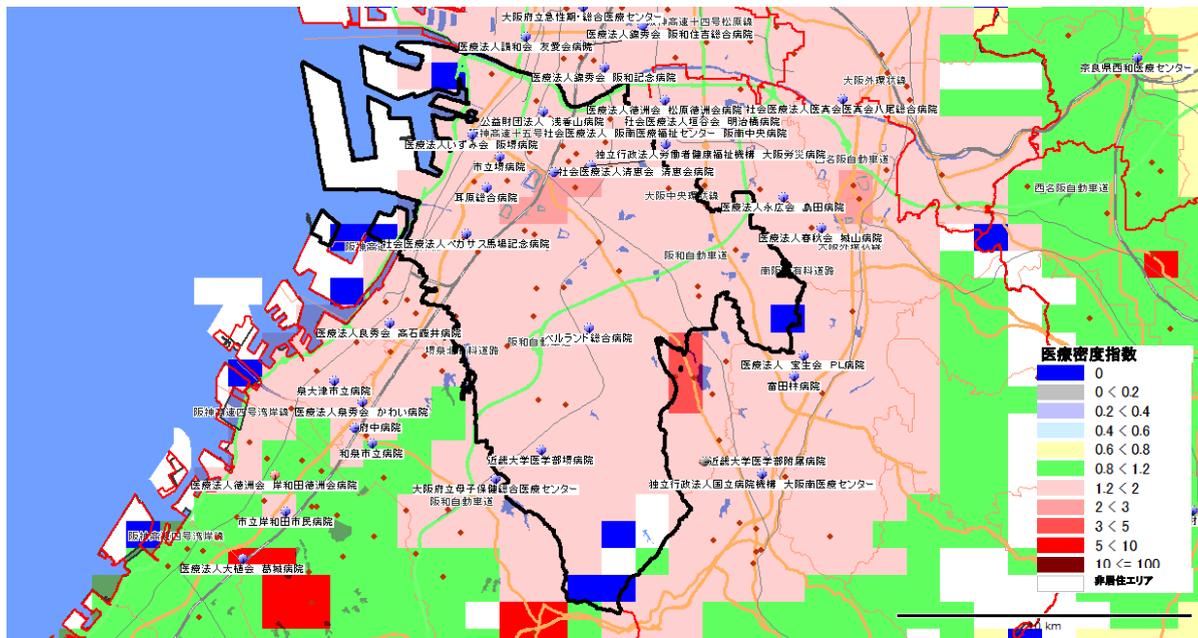


3. 医療密度⁵

図表27-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表27-6-2 慢性期医療密度指数マップ

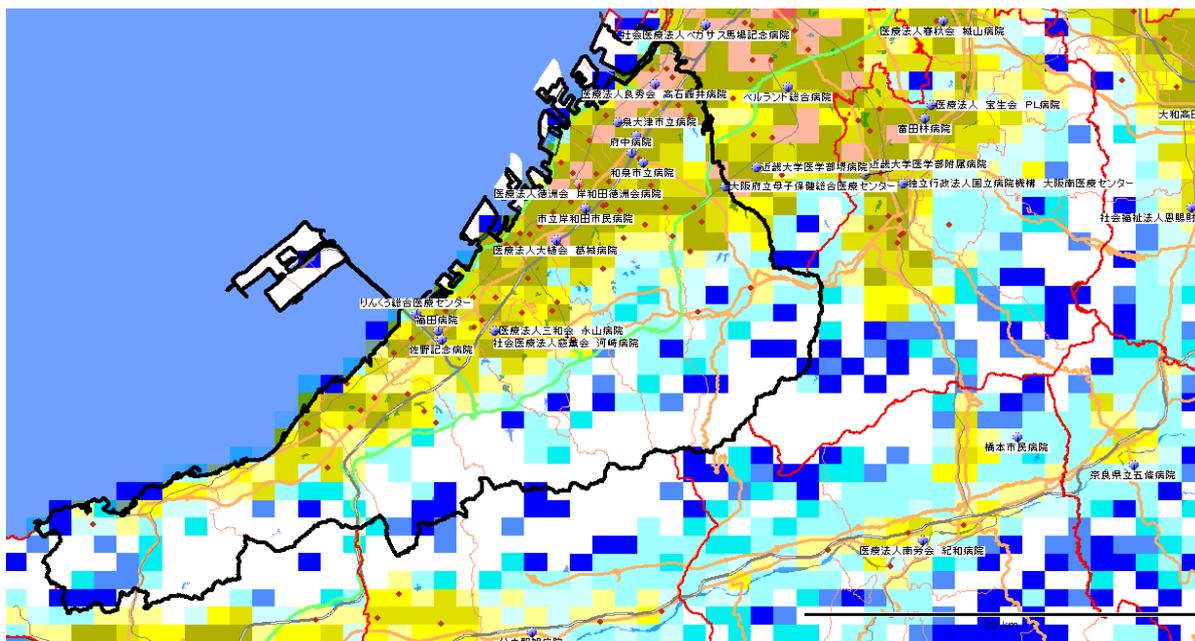


27-7. せんしゅう 泉州医療圏

構成市区町村¹⁰

岸和田市	泉大津市	貝塚市	泉佐野市
和泉市	高石市	泉南市	阪南市
忠岡町	熊取町	田尻町	岬町

人口分布¹（1km²区画単位）



区画内人口(1平方キロ)



Ⅲ群

一般病院

(泉州医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

*人口、面積など： 泉州(岸和田市)は、総人口約917千人(2015年推計)、面積441km²、人口密度は2079人/km²の大都市型二次医療圏である。

*人口の将来予測： 泉州の総人口は2025年に881千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に792千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の104千人が、2025年にかけて148千人へと増加し(2015年比+42%)、2040年には148千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

*医療費と介護給付費： 泉州の一人当たり医療費(国保)は328千円(偏差値52)、介護給付費は247千円(偏差値48)であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

*入院医療の充実度： 泉州の一人当たり急性期医療密度指数²は0.78、一人当たり慢性期医療密度指数²は1.07で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

*医師・看護師の現状： 総医師数³の偏差値が48(病院医師数49、診療所医師数48)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は42で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は51と全国平均レベルである。泉州には、年間全身麻酔件数が2000例以上のりんくう総合医療センター(Ⅲ群・救命)、大阪府立母子保健総合医療センター(Ⅲ群)、岸和田徳洲会病院(Ⅲ群・救命)、1000例以上の市立岸和田市民病院(Ⅲ群)、市立貝塚病院(Ⅲ群)、府中病院(Ⅲ群)、500例以上の佐野記念病院(Ⅲ群)、葛城病院(Ⅲ群)、泉大津市立病院(Ⅲ群)、和泉市立病院(Ⅲ群)がある。

*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は58と療養病床数は多い。

*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値52と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値53とやや多い。

*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は68で精神病床数は非常に多い。

*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

*介護施設の現状： 泉州の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、8754人(75歳以上1000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が4730床(偏差値39)、高齢者住宅等が4024床(偏差値49)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6165人(75歳以上1000人当たりの偏差値35)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム40、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム42、軽費ホーム54、グループホーム43、サ高住65である。

*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値59と多く、在宅療養支援病院は偏差値69と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、2706人(75歳以上1000人当たりの偏差値73)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

*介護の2040年の需要予測： 2040年の介護充足度指数⁴は-85%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

泉州医療圏の総人口は、2005年916993人が、2015年に916518人と1%未満減少し、2025年の人口が880500人と予測され、2005年→2025年の間に4%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に15%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

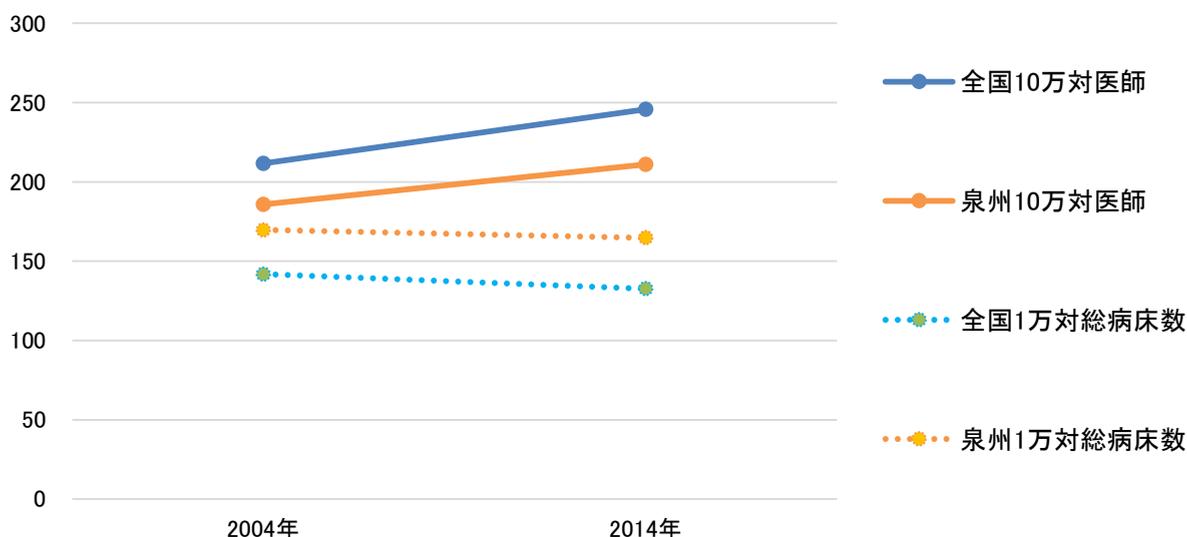
2004年の病院数が81(人口10万人当たり8.8病院(全国平均7.1)偏差値54)であったが、2014年に76(人口10万人当たり8.3病院(全国平均6.7)偏差値54)となり、10年間で5病院が減少した。

2004年の診療所数が607(人口10万人当たり66診療所(全国平均76)偏差値45)であったが、2014年に668(人口10万人当たり73診療所(全国平均79)偏差値47)と、61診療所が増加した。

2004年の総病床数が15563床(人口1万人当たり170(全国平均142)偏差値55)であったが、2014年に15103床(人口1万人当たり165(全国平均133)偏差値56)と、460床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

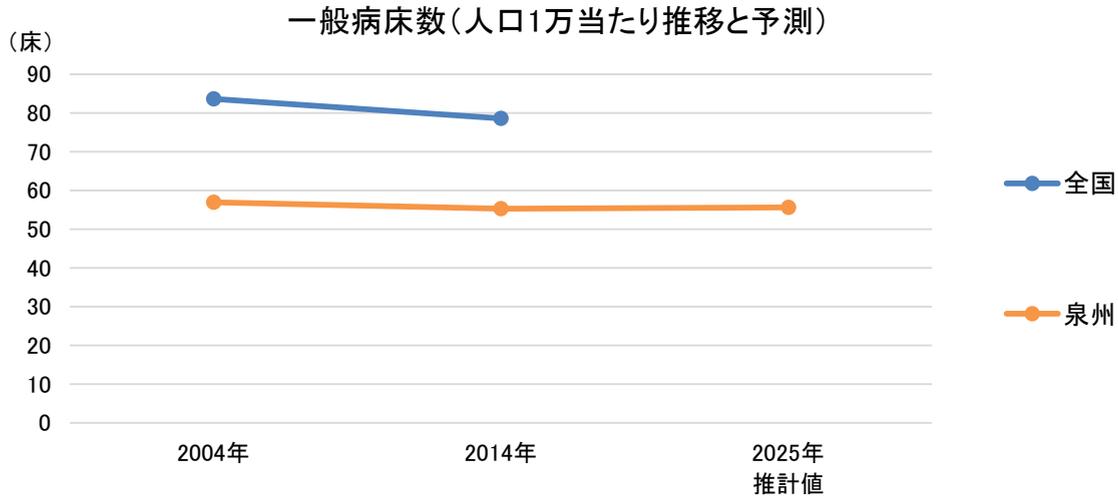
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が1704人(人口10万人当たり186人(全国平均212人)偏差値47)であったが、2014年に1934人(人口10万人当たり211人(全国平均246人)偏差値46)との増加、率にして13%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。

2004→2014年 人口当たり医師数・病床数



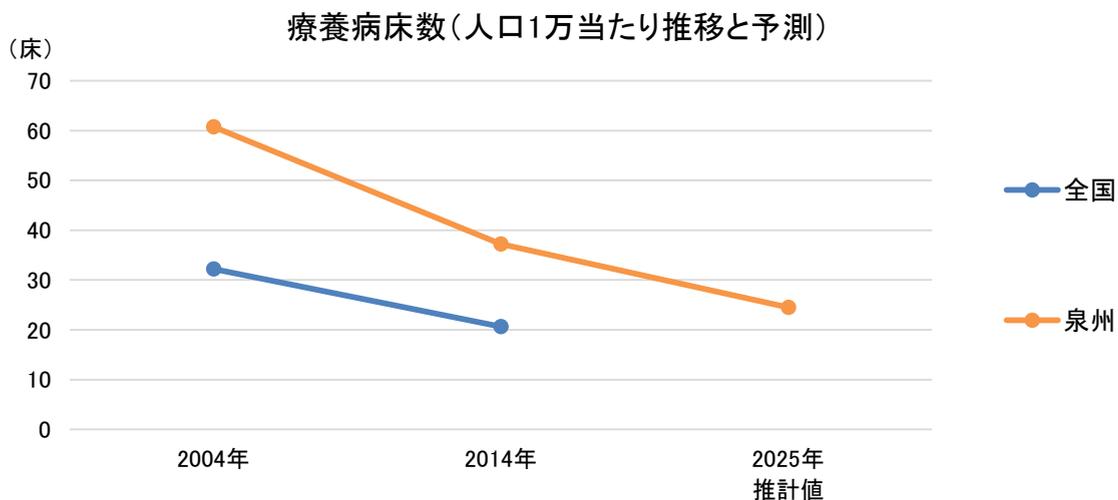
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が5221床(人口1万人当たり57(全国平均84)偏差値41)であったが、2014年に5068床(人口1万人当たり55(全国平均79)偏差値41)と、153床の減少、率にして3%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4900床(2025年の推計人口1万人当たり56)になることが予想される。



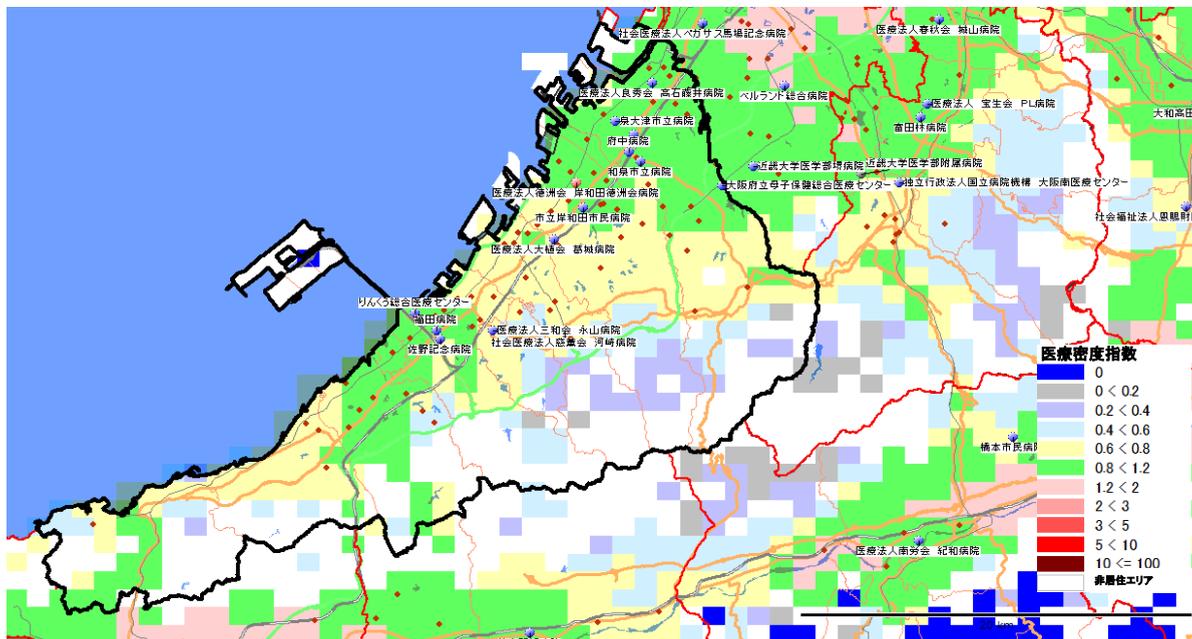
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が4102床(75歳以上1000人当たり61(全国平均32)偏差値66)であったが、2014年に3878床(75歳以上1000人当たり37(全国平均21)偏差値64)と、224床の減少、率にして5%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には3632床(2025年の推計75歳以上1000人当たり24)になることが予想される。

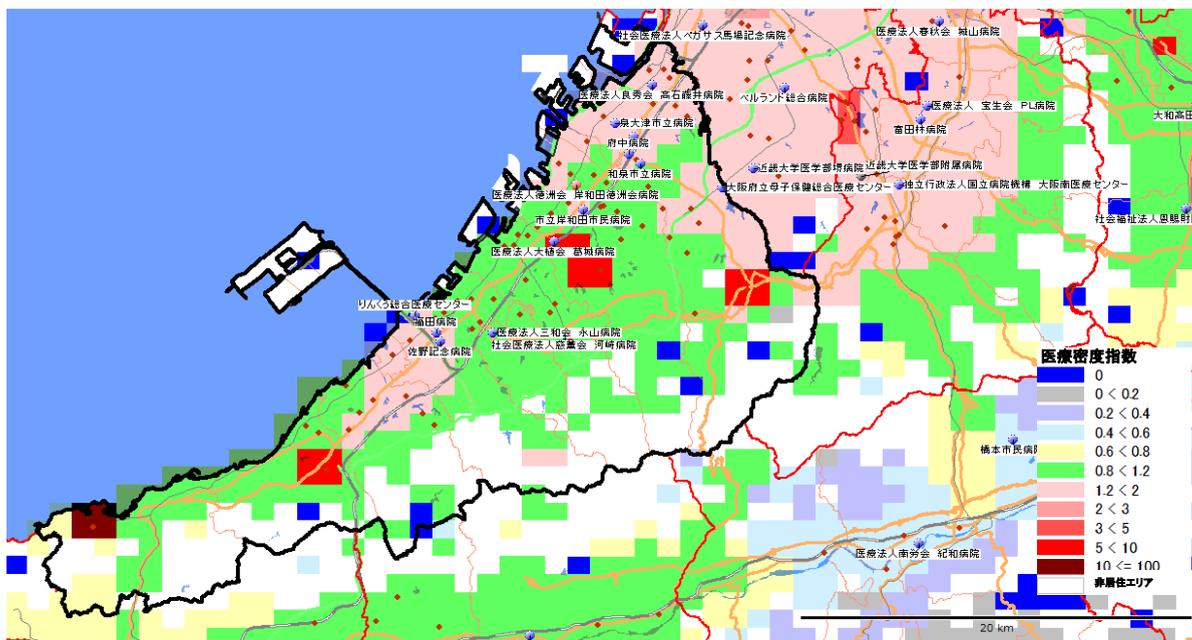


3. 医療密度⁵

図表27-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表27-7-2 慢性期医療密度指数マップ

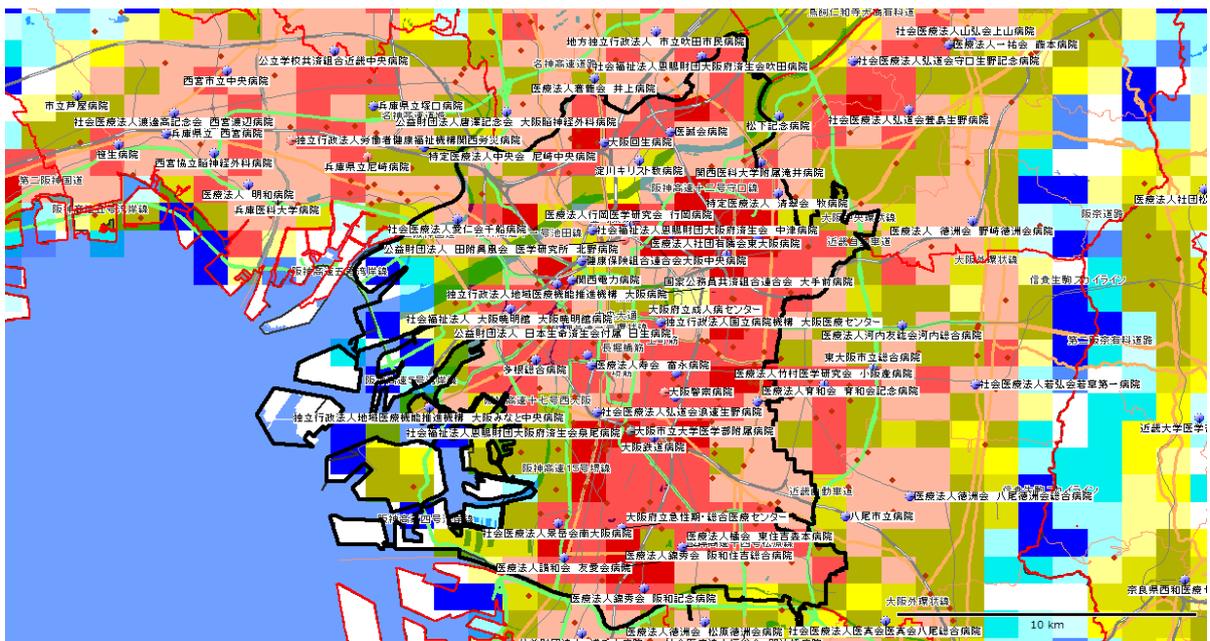


27-8. おおさかし 大阪市医療圏

構成市区町村¹⁰

- | | | | |
|----------------------|----------------------|----------------------|---------------------|
| 都島区 | 福島区 | 此花区 | 西区 |
| 港区 | 大正区 | 天王寺区 | 浪速区 |
| 西淀川区 | 東淀川区 | 東成区 | 生野区 |
| 旭区 | 城東区 | 阿倍野区 | 住吉区 |
| 東住吉区 | 西成区 | 淀川区 | 鶴見区 |
| 住之江区 | 平野区 | 北区 | 中央区 |

人口分布¹ (1km²区画単位)



区画内人口(1平方キ口)



Ⅲ群

一般病院

（大阪市医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照：資料編の図表）

【地域の概要】

***人口、面積など：** 大阪市(大阪市都島区)は、総人口約2664千人(2015年推計)、面積222km²、人口密度は11974人/km²の大都市型二次医療圏である。

***人口の将来予測：** 大阪市の総人口は2025年に2553千人へと減少し(2015年比-4%)、2040年に2292千人へと減少する(2025年比-10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の340千人が、2025年にかけて448千人へと増加し(2015年比+32%)、2040年には442千人へと減少する(2025年比-1%)ことが予想される。

***医療費と介護給付費：** 大阪市の一人当たり医療費(国保)は312千円(偏差値48)、介護給付費は306千円(偏差値64)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

***入院医療の充実度：** 大阪市の一人当たり急性期医療密度指数²は1.31、一人当たり慢性期医療密度指数²は0.85で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

***医師・看護師の現状：** 総医師数³の偏差値が65(病院医師数60、診療所医師数71)と、総医師数と病院医師数は多く、診療所医師数は非常に多い。総看護師数の偏差値は53とやや多い。

***一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は62で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は57と多い。大阪市には、年間全身麻酔件数が2000例以上の国立病院機構大阪医療センター(Ⅱ群・救命)、大阪市立総合医療センター(Ⅱ群・救命)、中津病院(Ⅱ群)、JCHO大阪病院(Ⅲ群)、淀川キリスト教病院(Ⅲ群)、大阪府立急性期・総合医療センター(Ⅲ群・救命)、大阪赤十字病院(Ⅲ群・救命)、大阪市立大学医学部附属病院(Ⅰ群・救命)、北野病院(Ⅱ群)、大阪警察病院(Ⅱ群・救命)、大阪府立成人病センター(Ⅱ群)、1000例以上の大手前病院(Ⅲ群)、済生会野江病院(Ⅲ群)、富永病院(Ⅲ群)、住友病院(Ⅲ群)、大阪中央病院(Ⅲ群)、医誠会病院(Ⅲ群)、大阪鉄道病院(Ⅲ群)、多根総合病院(Ⅲ群)、日生病院(Ⅲ群)、千船病院(Ⅲ群)、関西電力病院(Ⅱ群)、500例以上の大阪市立十三市民病院(Ⅲ群)、JCHO大阪みなと中央病院(Ⅲ群)、大阪回生病院(Ⅲ群)、南大阪病院(Ⅲ群)、行岡病院(Ⅲ群)、牧病院(Ⅲ群)、済生会泉尾病院(Ⅲ群)、阪和住吉総合病院(Ⅲ群)、大野記念病院(Ⅲ群)、N T T西日本大阪病院(Ⅲ群)、東住吉森本病院(Ⅲ群)がある。

***療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は49と療養病床数は全国平均レベルである。

***リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値51と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値51と全国平均レベルである。

***精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は38で精神病床数は少ない。

***診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は74で診療所数は非常に多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

***介護施設の現状：** 大阪市の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、33796人(75歳以上1000人当たりの偏差値50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が17321床(偏差値43)、高齢者住宅等が16475床(偏差値56)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、22190人(75歳以上1000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設45、有料老人ホーム55、軽費ホーム44、グループホーム46、サ高住61である。

***在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値81と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値56と多い。また、訪問看護ステーションは偏差値61と多い。介護職員(在宅)の合計は、12188人(75歳以上1000人当たりの偏差値91)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを大きく上回る。

***介護の2040年の需要予測：** 2040年の介護充足度指数⁴は-40%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2. 推移と将来推計

【人口と医療需要】

大阪市医療圏の総人口は、2005年2628811人が、2015年に2663783人と1%増加し、2025年の人口が2553167人と予測され、2005年→2025年の間に3%程度の減少が予測されている。

医療の需要は、2005年から2015年に16%増加し、2015年から2025年にかけて3%程度の増加が予測される。

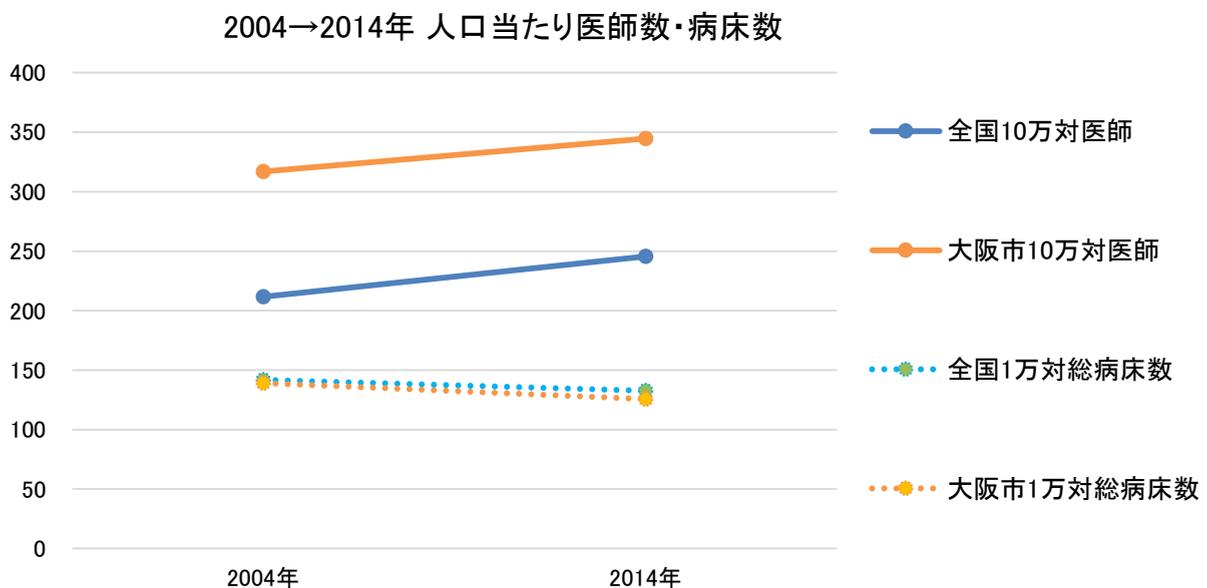
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が200(人口10万人当たり7.6病院(全国平均7.1)偏差値51)であったが、2014年に184(人口10万人当たり6.9病院(全国平均6.7)偏差値50)となり、10年間で16病院が減少した。

2004年の診療所数が3315(人口10万人当たり126診療所(全国平均76)偏差値75)であったが、2014年に3379(人口10万人当たり127診療所(全国平均79)偏差値74)と、64診療所が増加した。

2004年の総病床数が36564床(人口1万人当たり139(全国平均142)偏差値50)であったが、2014年に33455床(人口1万人当たり126(全国平均133)偏差値49)と、3109床の減少、率にして9%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。

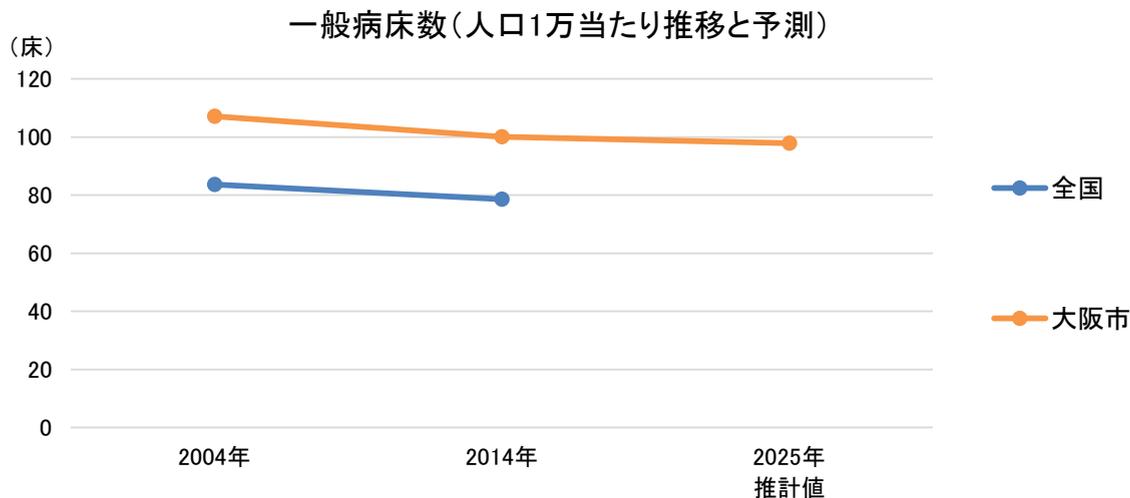
2004年には病院と診療所合わせての医師数³が8332人(人口10万人当たり317人(全国平均212人)偏差値63)であったが、2014年に9182人(人口10万人当たり345人(全国平均246人)偏差値60)と、850人の増加、率にして10%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



27. 大阪府（2016年版）

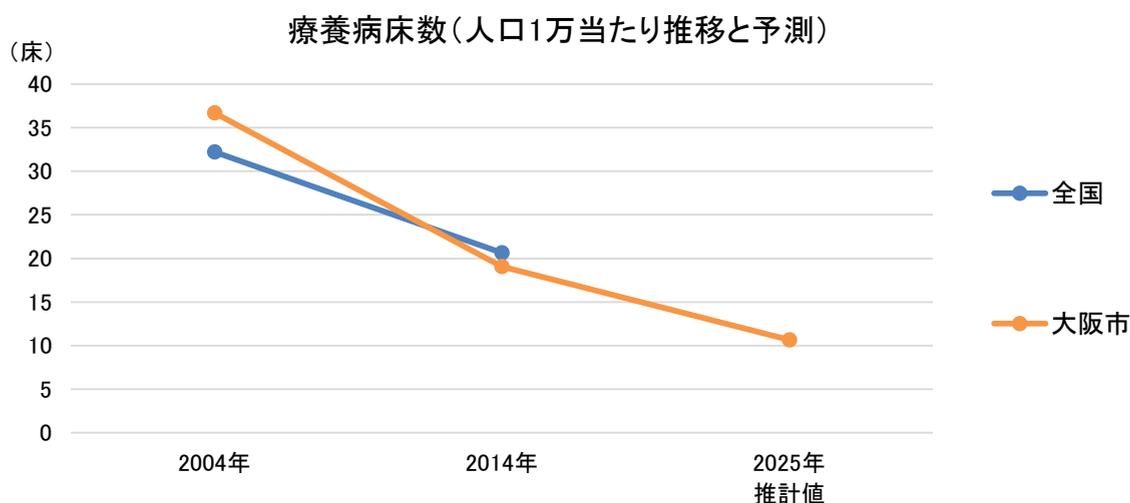
【一般病床の推移と今後の予測】

2004年の一般病床(病院+診療所)が28150床(人口1万人当たり107(全国平均84)偏差値58)であったが、2014年に26648床(人口1万人当たり100(全国平均79)偏差値58)と、1502床の減少、率にして5%の減少(全国平均7%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には24996床(2025年の推計人口1万人当たり98)になることが予想される。



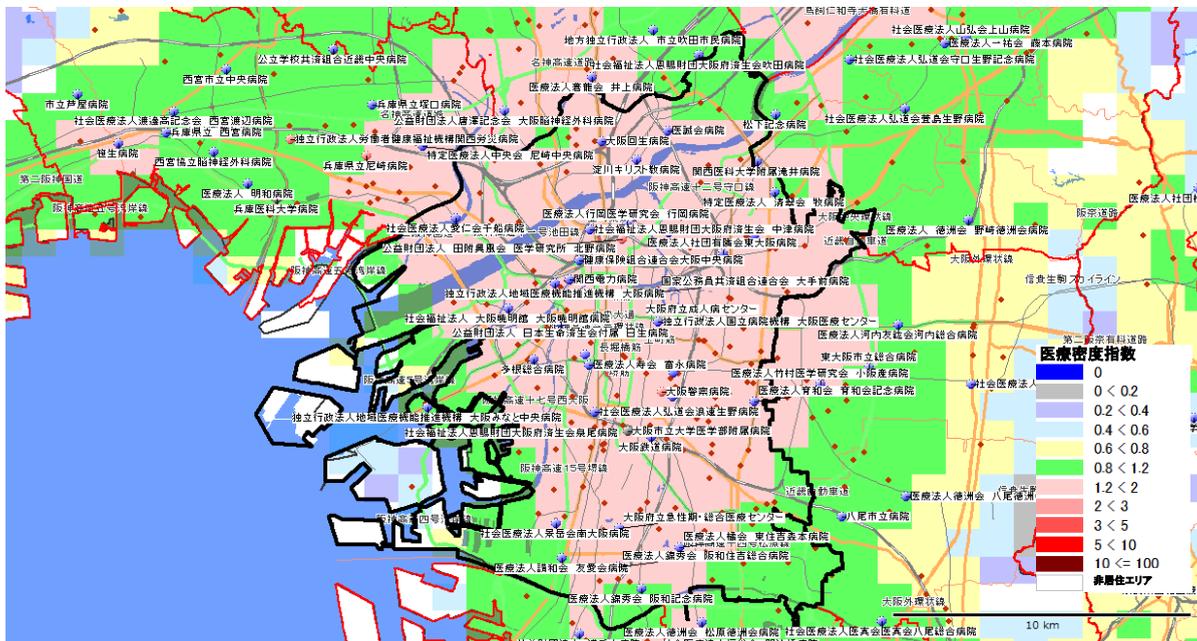
【療養病床の推移と今後の予測】

2004年の療養病床(病院+診療所)が8033床(75歳以上1000人当たり37(全国平均32)偏差値53)であったが、2014年に6482床(75歳以上1000人当たり19(全国平均21)偏差値49)と、1551床の減少、率にして19%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。この調子で減少が続くとすると2025年には4776床(2025年の推計75歳以上1000人当たり11)になることが予想される。

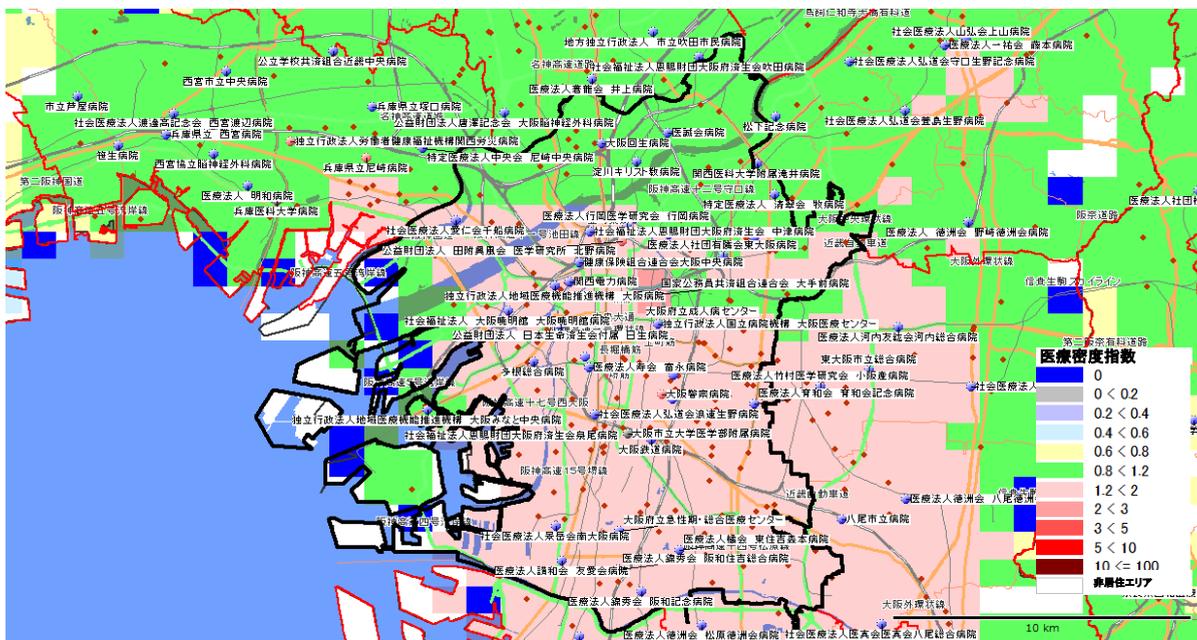


3. 医療密度⁵

図表27-8-1 急性期医療密度指数マップ



図表27-8-2 慢性期医療密度指数マップ



27. 大阪府（2016年版）

注

¹1km²区画（1km²メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/km²以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/km²）、青色系統は人口が少ない（1,000人/km²未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREAシリーズ

²その地域の住民が、どの程度の医療（急性期及び慢性期）を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。

³【医療の現状】で使用した総医師数は、病院医師数（平成26年病院報告（厚生労働省 平成26年10月））と診療所医師数（平成26年医療施設調査（厚生労働省 平成26年10月））の合計。

【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】で使用した2014年の総医師数は、平成26年医師・歯科医師・薬剤師調査（厚生労働省 平成26年12月）に基づく病院医師数と診療所医師数の合計。

⁴高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人（推計）に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2016年の全国平均（99.3床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

⁵急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

⁶日医総研WP no. 352「地域の医療提供体制の現状 -都道府県別・二次医療圏別データ集（2015年度版）を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

⁷複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。

⁸近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除いて計算している。

⁹市町村国保の保険者単位のデータしかないため、同一の保険者において複数の二次医療圏をもつ横浜市と川崎市は保険者単位で算出している。

「入院」は、入院診療及び食事療養・生活療養の計である。

「入院外+調剤」は、入院外診療及び調剤の支給の計である。

¹⁰日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。